

2024年度 授業評価アンケート報告書

関西学院大学経営戦略研究科

本報告書の概要

本報告書は、関西学院大学経営戦略研究科において 2024 年度に開講された授業についての学生及び教員による評価アンケートの結果をまとめたものである。本研究科は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いキャンパスにおける授業実施が制限されたことを契機として、「経営戦略研究科開講授業実施方針」とともに、「専門職大学院経営戦略研究科における『メディアを利用して行う授業』に関する内規」を定めこれらに基づき、2024 年度についても対面（「ハイフレックス型」を含む）とオンライン（「フルオンライン型」と呼ばれる同時双方向型）で授業の提供を実施した。授業評価アンケートもオンラインで実施した。

授業評価アンケートを実施した授業科目は、2024 年度に開講された 353 講義である。2024 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 5,268 人（延べ人数、以下同じ）で、実際にアンケート調査を回答した者は 3,286 人であり、アンケート調査の回答率は 62.4%（春学期 69.3%、秋学期 56.0%）であった。回答率に改善の余地があることから、次年度以降も引き続き、学生への周知方法や、授業内時間の活用などについて検討を行ない、実効性のある方策を提示する。

学生による評価アンケートは、設問 1 から設問 9 が「教員の授業内容と方法」について、設問 10 と設問 11 が「学生自身の取り組み」について、設問 12 から設問 14 が「授業の満足度」についての質問となっており、いずれの設問も 5 段階評価で回答することとなっている。

今回の学生によるアンケート回答結果からは、学生の授業に対する満足度に関する評価は概ね高い水準を維持していることがわかる。設問 13 の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」のスコアは、通年で 4.61、春学期が 4.60、秋学期が 4.61 であった。設問の中で最も高いスコアだったのは、設問 3 の「教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか」で、秋学期で 4.85、通年で 4.84 となり、4 年連続で高い水準を保っている。つまり、担当教員の授業を行うための専門知識に関して、学生から高く評価されていると考えられる。

他方、以前から継続して見られることであるが、学生自身の取り組みについての問いである設問 10 の「この授業を受けるに当たって十分な予習や復習を行いましたか」、及び設問 11 の「この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか」のスコアは、教員の授業内容や方法、授業の満足度についての設問のスコア（設問 1～9、設問 12～14）に比して低い状況が続いている。授業外での課題設定を充実させる工夫が必要となろう。

また、2021 年度から追加されたオンライン授業に関する満足度を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）のスコアは、前者は対前年比で 2 年連続で低下し、後者も対前年比で低下した。経営戦略研究科は、2022 年度より本格的に、授業を対面・ハイフレックス（オンライン併用型対面授業）・フルオンラインの 3 形態で実施するとともに、授業実施形態にかかわらず履修者に授業の録画を提供しているが、引き続き授業担当者の機器操作のスキルを向上させるための取り組みの継続や、サポート体制の充実、さらにノウハウを教員間で共有する機会の確保が必要と考えられる。

経営戦略研究科開講科目の授業担当者による担当科目の自己評価（以下、「教員による担当科目自己評価」という。）については、各専攻の特徴を踏まえながら、コア、ベーシック、アドバンスト、課題研

究の4つの科目群に分けて考察した。

まず、企業経営戦略コースでは、グループディスカッション等のアクティブラーニングの導入や実務家をゲストスピーカーとして積極的に招聘する等の特徴が見られた。総じて、「理論と実務の架橋」、つまり授業で学んだ内容を履修者個々人が実務で応用できるようになることを意識して授業を構成していることがうかがえる。

コア科目群では、基本的な理論・フレームワークを習得させることに力点が置かれ、また、その理論やフレームワークを履修者個々人のビジネスに合わせて応用できる能力の形成を重視していることがうかがえた。ベーシック科目群では、経営分野の基礎的な概念や理論への理解を深化させ、それらを体系化できる能力形成に力点を置いた授業もみられる。アドバンスト科目群では、発展的な科目という性質から、高い分析力を要求する科目も見られる。課題研究科目群の「課題研究基礎」では、参考文献の渉猟、先行研究の分析・検討など課題研究論文の作成に向けて基礎となる部分を理解させること、「課題研究」では学生が自らのビジネスにかかわる課題や解決すべき社会的問題をテーマに設定して、科学的にアプローチして論理的・実証的に論文にまとめることができるように指導するなど、企業経営戦略コースの意図する内容となっていることが確認できた。

「力を入れた点」と「実施して良かった点」は同じ回答内容となるものもあるが、2019年度までの紙媒体での調査から Web 上での調査に変わり、自由記述回答への記述量が大幅に改善されているため、これらの設問への回答の相違点についての分析が今後は進んでいくものと考えられる。

国際経営コースでは、教員による担当科目自己評価と、学生の評価の間にギャップがあることは否定できない。その原因は明確ではないが、ギャップがあることを認識したうえで、そのギャップを埋めていくための教員の取り組みに関して個別に検討する必要があると思われる。

会計専門職専攻では、例年細かな達成度合いについて数量的な把握を行っている。詳細は6. を参照されたい。その中で学生の会計に関する予備知識についての不足が指摘されており、対応策が必要とされるだろう。

1. 授業評価の目的

大学・大学院において第三者評価が義務づけられ、専門職大学院を置く大学は、当該専門職大学院の教育課程、教員組織等その他教育研究活動の状況について、文部科学大臣が認証した評価機関により、5年以内ごとに認証評価を受けることが義務づけられている。その目的は、教育研究等について自己点検・評価し、質の保証を行うとともに、継続的に改善・向上に取り組むためである。また、経営戦略研究科は、教員の資質維持向上の方策のひとつとして、「授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等の実施」に取り組んでいる。

本研究科では、授業内容及び授業方法の改善を図るため、原則としてクォーターごとに、学生による授業に関するアンケートと教員による担当科目自己評価を実施する。授業評価の目的は、本研究科学生の実態や現状、学生の授業に対する認識・反応などをアンケートから探り、その結果を分析することによって、教育の現場に反映させる基礎資料を作成し、ビジネススクール及びアカウンティングスクールの教育の質的向上を図るとともに、ビジネススクール及びアカウンティングスクール固有の教学上の諸課題を把握し、解明することにある。

学生によるアンケートと並行して行う教員による担当科目自己評価では、各教員は、学生の授業評価の結果を見ない段階で授業を振り返ってオンラインでアンケートの記入を行っている。このため、学生

アンケートの集計結果が各教員にフィードバックされた際に、学生の評価と教員自身が作成した評価を対照することで「より良い授業へ」のヒントが得られる仕組みとなっている。

2. 本報告書の構成と作成主体

本報告書の構成は、2024 年度授業評価アンケート結果概要・分析、授業評価アンケート実施科目一覧、授業評価アンケートフォーム、授業別評定平均値一覧、集計結果表（全体・履修人数・専攻・コース・科目別）、教員による担当科目自己評価及びグループ・インタビュー調査結果からなっている。

授業評価に関する調査の企画、調査票の作成、及び集計結果についての分析と本報告書の執筆については、本研究科に設置された「経営戦略研究科内部質保証委員会」のメンバーを中心として行われた。

調査の実施の方法等についての詳細は、「3. 調査実施方法及び期間等」のとおりである。アンケート実施に当たって、貴重な授業時間を割いていただいた各教員に感謝申し上げます。また、実際に回答を寄せていただいた学生諸君に深く謝意を表する。

3. 調査実施方法及び期間等

授業内容については、春学期（第1クォーター、第2クォーター、夏季集中）・秋学期（秋季集中、第3クォーター、第4クォーター、冬季集中）の授業終了時に受講生による授業評価を実施している。本報告の対象となる授業評価アンケートの実施方法や実施期間等については、以下のとおりである。

（1）実施対象授業科目について

2024 年度に開講されたすべての授業科目を対象に授業評価アンケートを実施した。複数クラス開講分を含む実施数は、353 講義（春学期 177 講義、秋学期 176 講義）である。その内訳は、経営戦略専攻が 223 講義（企業経営戦略コース 149 講義、国際経営コース 74 講義）、会計専門職専攻が 130 講義である。

（2）回答者、回答率等について

2024 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 5,268 人（延べ人数、以下同じ）で、そのうち、春学期が 2,570 人、秋学期が 2,698 人であった。また、実際にアンケート調査を回答した者は 3,286 人（春学期 1,778 人、秋学期 1,508 人）であり、アンケート調査の回答率は 62.4%（春学期 69.2%、秋学期 55.9%）であった。各専攻別の内訳は次のとおりである。

経営戦略専攻の授業科目の履修登録者数は 3,248 人（企業経営戦略コース 2,368 人、及び国際経営コース 880 人）で、そのうち、春学期は 1,512 人（企業経営戦略コース 1,127 人、及び国際経営コース 385 人）、秋学期は 1,736 人（企業経営戦略コース 1,241 人、及び国際経営コース 495 人）であった。アンケート調査の回答者数については、2,036 人（企業経営戦略コース 1,536 人、及び国際経営コース 500 人）であった。そのうち、春学期は 1,039 人（企業経営戦略コース 797 人、及び国際経営コース 242 人）、秋学期は 997 人（企業経営戦略コース 739 人、及び国際経営コース 258 人）であった。回答率は 62.7%（企業経営戦略コース 64.9%、及び国際経営コース 56.8%）である。そのうち、春学期は 68.7%（企業経営戦略コース 70.7%、及び国際経営コース 62.9%）、秋学期は 57.4%（企業経営戦略コース 59.5%、及び国際経営コース 52.1%）であった。

また、会計専門職専攻の授業科目の履修登録者数は 2,020 人（春学期 1,058 人、秋学期 962 人）で、アンケート調査の回答者数は 1,250 人（春学期 739 人、秋学期 511 人）あり、その回答率は 61.9%（春

学期 69.8%、秋学期 53.1%) であった。

研究科全体で概ね9割前後で推移してきた授業評価アンケートの回答率は、2020年度以降は低下する傾向にある。これは、授業時間内に教室でマークシートの調査票を受講生に配付して回答する方法だったものが、新型コロナウイルスの感染拡大により授業実施形態がオンラインに切り替わったことに伴い、授業時間外にも学生がオンラインで授業評価アンケートに回答できるように実施方法を変更したことが要因の一つとして考えられる。回答率低下の改善を図るために、2023年度より、教員による担当科目自己評価において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加した。

（3）実施期間について

学生による授業評価アンケートは、以下の期間にオンラインで実施した。

第1クォーター開講科目	：	2024年 5月21日（火）～ 6月 3日（月）
第2クォーター開講科目	：	2024年 7月16日（日）～ 7月29日（土）
夏季集中講義期間開講科目	：	2024年 7月31日（月）～ 8月16日（水）
秋季集中講義期間開講科目	：	2024年 9月29日（金）～ 10月15日（日）
第3クォーター開講科目	：	2024年11月16日（木）～ 11月29日（水）
第4クォーター開講科目	：	2025年 1月25日（木）～ 2月 7日（水）
冬季集中講義開講科目	：	2025年 2月 8日（木）～ 3月 3日（日）

（4）アンケートの実施について

2024年度の学生による授業評価アンケートは、質問項目数17（各質問につき最高ポイントを5とした5段階評価）で実施した。アンケートは、経営戦略研究科事務室から「授業に関するアンケート」のオンライン回答フォームのURLを、（3）の各期間に先立ち全履修者宛にメールにて送付し、履修者は上記の実施期間中にオンラインで回答した。このとき、履修者が忌憚なく回答できるように、授業担当者は、当該アンケートそのものは閲覧せず、後日事務室より送付の統計データを閲覧するようにした。

学生による授業評価アンケートと並行して行った教員による担当科目自己評価については、事前に経営戦略研究科事務室より電子メールにて回答用フォームのURLを各授業担当者に配付し、教員は該科目の成績報告書提出締切日までにオンライン上で回答した。教員による担当科目自己評価は、選択形式の10の設問と自由記述形式の2つの設問からなっている。

（5）集計

2024年度の授業評価アンケートについては、各授業科目・クラスごとに集計を行った。この「授業評価アンケート集計結果」は、各授業クラスの履修登録者数、回答者数（学年別、所属専攻別、出身学部別の回答者数）、各設問の有効回答数、有効回答数の平均値及び専攻平均値が示される。このうち、各設問の有効回答数の平均値と専攻平均値については、グラフによって視覚的にも明示している。

学生による授業評価アンケートには、自由記述に関する設問が3問ある（「この授業で良かったところを具体的に書いてください」、「この授業で変えてほしいところがあれば、具体的に書いてください」及び「この授業に関してほかに気づいたことがあれば書いてください」）。この自由記述の回答内容については、授業内容及び方法の改善のための資料に資する目的から、当初より、公表対象とせず、当該授

業担当者のみ配付している。

4. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

A. 学生による授業評価アンケート

(1) 概観

ここでは、2024 年度の授業評価アンケートの結果を、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、同じ調査票が使用されている 2009 年度以降の結果と比較して分析する。表 4-1 から表 4-4 は、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、回答の平均値（小数点第 3 位で四捨五入）を、春学期、秋学期、通年別に示したものである（年度の一番下にある「平均」は 2009 年度から 2024 年度の数字を平均したものである）。なお、2021 年度からは、オンライン授業を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）が追加されている。

全科目群（表 4-1）の評価であるが、設問 1 から設問 14 に関しては、春学期は設問 5 と 11 が低下、それ以外の設問は同じか上昇、秋学期については、設問 4、6～8、11～13 が低下、それ以外の設問は同じか上昇、通年については設問 4 と 11 が低下、それ以外の設問は同じか上昇した。また、質問 13 の「この授業は全般的に満足いくものでしたか」の通年のスコアは 4.49 で最も高かった 2022 年度の 4.60 と比べると低いスコアではあるが、2023 年度の 4.46 に比べると上昇した。この質問 13 に関しては、コア、ベーシック、アドバンストの科目群ごとの通年で見ても、コア科目群（表 4-2）が 4.35（2022 年度：4.46、2023 年度：4.21）、ベーシック科目群（表 4-3）が 4.44（2022 年度：4.63、2023 年度：4.47）、アドバンスト科目群（表 4-4）が 4.58（2022 年度：4.63、2023 年度：4.55）で、コア、アドバンストの両科目群では 2023 年度に比べると上昇したが、ベーシック科目群では 2 年連続で低下している。2022 年度より、対面授業が再開され、ハイフレックス形式（対面受講とオンライン受講の学生が同時に受講する）で行われる授業が多くなった。ハイフレックス授業において、学生が受講形態（対面またはオンラインのいずれか）を自由に選択することができることが、2022 年度の高い数字につながった可能性がある。2023 年度以降はそれ以前の数値に戻りつつある。

他方、オンライン授業に関しての問いである設問 16 の「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」と設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」に関しては、設問 16 が全科目群の通年で 4.31（2023 年度：4.41）、コア科目群の通年で 4.20（2023 年度：4.41）、ベーシック科目群の通年で 4.17（2023 年度：4.48）、アドバンスト科目群の通年で 4.42（2023 年度：4.36）でありアドバンスト科目群以外は低下した。また、設問 17 についても、全科目群の通年で 4.41（2023 年度：4.45）、コア科目群の通年で 4.34（2023 年度：4.34）、ベーシック科目群の通年で 4.28（2023 年度：4.54）、アドバンスト科目群の通年で 4.51（2023 年度：4.44）でありアドバンスト科目群以外は低下した。スコア自体は、依然として高いレベルを維持しているため、大きな問題があったものとは思われないが、評価が低下した科目群の評価が回復するように一層の努力が求められる。

職場や家庭など日常生活のあらゆるシーンでオンラインでのコミュニケーションは特別なことではなくなったことにより、大学におけるオンラインを活用した授業に対して学生が要求する水準は今後もより一層高まっていくことが予想される。この点にも注意が必要であろう。

表４－１：全科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.51	4.58	4.67	4.31	4.35	4.14	4.18	4.13	4.49	3.97	3.91	4.10	4.33	4.19	—	—
2010	4.59	4.59	4.73	4.45	4.48	4.23	4.27	4.28	4.57	4.03	3.88	4.15	4.39	4.24	—	—
2011	4.54	4.59	4.73	4.36	4.51	4.15	4.12	4.17	4.51	4.04	3.88	4.07	4.32	4.26	—	—
2012	4.38	4.47	4.67	4.30	4.42	4.10	4.19	4.12	4.47	3.97	3.73	4.01	4.23	4.32	—	—
2013	4.55	4.57	4.71	4.36	4.45	4.13	4.19	4.14	4.50	3.99	3.83	4.08	4.31	4.39	—	—
2014	4.57	4.57	4.74	4.42	4.48	4.23	4.32	4.22	4.57	4.06	3.87	4.13	4.40	4.46	—	—
2015	4.59	4.62	4.74	4.46	4.54	4.29	4.35	4.32	4.60	4.02	3.86	4.16	4.44	4.51	—	—
2016	4.55	4.63	4.73	4.41	4.47	4.23	4.33	4.22	4.53	4.03	3.82	4.16	4.39	4.46	—	—
2017	4.60	4.61	4.76	4.42	4.48	4.19	4.31	4.18	4.57	4.02	3.88	4.12	4.37	4.46	—	—
2018	4.65	4.69	4.78	4.50	4.55	4.35	4.36	4.41	4.65	4.10	4.17	4.26	4.49	4.56	—	—
2019	4.62	4.69	4.82	4.55	4.60	4.40	4.44	4.41	4.67	4.18	4.24	4.31	4.54	4.60	—	—
2020	4.52	4.60	4.78	4.45	4.39	4.03	4.30	4.24	4.48	4.19	4.27	4.21	4.36	4.50	—	—
2021	4.67	4.74	4.82	4.61	4.66	4.30	4.50	4.40	4.74	4.40	4.36	4.31	4.49	4.58	4.52	4.51
2022	4.71	4.77	4.86	4.67	4.71	4.43	4.53	4.45	4.78	4.46	4.43	4.43	4.63	4.67	4.48	4.38
2023	4.59	4.63	4.74	4.53	4.63	4.27	4.32	4.34	4.63	4.37	4.35	4.21	4.40	4.48	4.32	4.39
2024	4.62	4.70	4.82	4.53	4.59	4.36	4.42	4.42	4.72	4.40	4.33	4.27	4.50	4.60	4.32	4.46
平均	4.58	4.63	4.76	4.46	4.52	4.24	4.32	4.28	4.59	4.14	4.05	4.19	4.41	4.46	4.41	4.44

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.58	4.57	4.71	4.43	4.39	4.20	4.28	4.32	4.54	4.03	4.01	4.15	4.39	4.30	—	—
2010	4.66	4.64	4.71	4.51	4.52	4.30	4.38	4.34	4.58	4.14	4.04	4.24	4.40	4.34	—	—
2011	4.56	4.58	4.71	4.42	4.46	4.27	4.27	4.27	4.59	4.00	3.92	4.17	4.40	4.27	—	—
2012	4.50	4.58	4.68	4.38	4.43	4.16	4.21	4.22	4.49	4.02	3.87	4.06	4.27	4.35	—	—
2013	4.46	4.49	4.61	4.31	4.37	4.12	4.21	4.16	4.49	4.00	3.94	4.04	4.26	4.32	—	—
2014	4.61	4.63	4.74	4.49	4.54	4.33	4.37	4.29	4.60	4.13	4.00	4.20	4.43	4.52	—	—
2015	4.62	4.66	4.75	4.49	4.57	4.37	4.38	4.36	4.64	4.08	3.98	4.25	4.46	4.50	—	—
2016	4.63	4.67	4.80	4.51	4.46	4.28	4.36	4.28	4.59	4.02	3.88	4.18	4.49	4.54	—	—
2017	4.66	4.72	4.82	4.53	4.53	4.37	4.36	4.33	4.64	4.09	3.97	4.25	4.51	4.57	—	—
2018	4.74	4.74	4.81	4.63	4.70	4.54	4.51	4.50	4.74	4.29	4.30	4.41	4.63	4.67	—	—
2019	4.63	4.67	4.80	4.52	4.56	4.40	4.43	4.41	4.65	4.23	4.20	4.34	4.53	4.59	—	—
2020	4.62	4.66	4.80	4.55	4.54	4.25	4.35	4.38	4.63	4.35	4.30	4.28	4.46	4.57	—	—
2021	4.69	4.70	4.79	4.57	4.61	4.38	4.46	4.41	4.70	4.33	4.29	4.29	4.51	4.58	4.55	4.51
2022	4.71	4.74	4.84	4.60	4.69	4.48	4.48	4.45	4.72	4.47	4.40	4.41	4.57	4.65	4.41	4.39
2023	4.62	4.71	4.79	4.58	4.63	4.42	4.46	4.45	4.74	4.46	4.40	4.31	4.53	4.56	4.49	4.51
2024	4.68	4.73	4.85	4.52	4.68	4.35	4.43	4.39	4.74	4.47	4.28	4.27	4.48	4.58	4.29	4.36
平均	4.62	4.66	4.76	4.50	4.54	4.33	4.37	4.35	4.63	4.19	4.11	4.24	4.46	4.49	4.44	4.44

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.57	4.69	4.37	4.37	4.17	4.23	4.22	4.51	4.00	3.95	4.12	4.36	4.25	—	—
2010	4.62	4.61	4.72	4.48	4.49	4.26	4.32	4.31	4.58	4.08	3.95	4.19	4.40	4.29	—	—
2011	4.55	4.58	4.72	4.38	4.49	4.20	4.19	4.22	4.55	4.03	3.90	4.12	4.36	4.27	—	—
2012	4.44	4.52	4.68	4.34	4.42	4.13	4.20	4.17	4.48	4.00	3.80	4.03	4.25	4.34	—	—
2013	4.51	4.53	4.66	4.34	4.41	4.13	4.19	4.15	4.50	4.00	3.88	4.06	4.29	4.36	—	—
2014	4.59	4.60	4.74	4.45	4.51	4.28	4.34	4.26	4.58	4.09	3.92	4.16	4.41	4.49	—	—
2015	4.60	4.63	4.74	4.48	4.55	4.33	4.37	4.34	4.62	4.05	3.91	4.20	4.45	4.50	—	—
2016	4.59	4.65	4.77	4.46	4.46	4.26	4.34	4.25	4.56	4.02	3.85	4.17	4.44	4.50	—	—
2017	4.63	4.66	4.79	4.47	4.50	4.28	4.33	4.25	4.60	4.05	3.92	4.18	4.43	4.51	—	—
2018	4.69	4.72	4.79	4.57	4.62	4.45	4.44	4.46	4.69	4.20	4.23	4.34	4.56	4.62	—	—
2019	4.63	4.68	4.81	4.53	4.58	4.40	4.44	4.41	4.66	4.20	4.22	4.32	4.53	4.60	—	—
2020	4.57	4.63	4.79	4.50	4.47	4.14	4.32	4.30	4.55	4.27	4.28	4.24	4.41	4.53	—	—
2021	4.68	4.72	4.80	4.59	4.63	4.34	4.48	4.41	4.72	4.37	4.33	4.30	4.50	4.58	4.54	4.51
2022	4.71	4.76	4.86	4.64	4.70	4.46	4.51	4.45	4.75	4.46	4.42	4.42	4.60	4.66	4.45	4.38
2023	4.60	4.67	4.76	4.55	4.63	4.34	4.39	4.39	4.68	4.41	4.38	4.26	4.46	4.52	4.41	4.45
2024	4.65	4.71	4.83	4.52	4.63	4.36	4.42	4.41	4.73	4.43	4.31	4.27	4.49	4.59	4.31	4.41
平均	4.60	4.64	4.76	4.48	4.53	4.28	4.34	4.31	4.61	4.17	4.08	4.21	4.43	4.48	4.43	4.44

表４－２：コア科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.40	4.48	4.69	4.15	4.17	3.98	4.06	3.92	4.43	3.84	3.78	3.89	4.16	4.03	—	—
2010	4.46	4.42	4.59	4.39	4.18	3.96	4.10	3.92	4.39	3.93	3.79	3.86	4.10	3.98	—	—
2011	4.41	4.39	4.64	4.10	4.07	3.72	3.86	3.73	4.24	3.85	3.50	3.56	3.85	3.90	—	—
2012	4.01	4.12	4.47	3.87	4.06	3.57	3.78	3.69	4.19	3.71	3.32	3.47	3.63	3.80	—	—
2013	4.50	4.45	4.71	4.29	4.32	3.87	3.97	3.98	4.37	3.90	3.62	3.93	4.16	4.27	—	—
2014	4.49	4.52	4.80	4.44	4.32	4.11	4.20	4.10	4.50	4.04	3.66	4.00	4.30	4.40	—	—
2015	4.48	4.46	4.75	4.28	4.39	4.03	4.20	4.15	4.43	3.76	3.55	3.86	4.25	4.36	—	—
2016	4.43	4.57	4.70	4.29	4.27	4.15	4.25	4.07	4.37	3.92	3.63	4.01	4.23	4.33	—	—
2017	4.52	4.51	4.79	4.37	4.39	4.09	4.28	4.11	4.44	3.86	3.56	3.92	4.27	4.38	—	—
2018	4.52	4.60	4.81	4.42	4.41	4.16	4.17	4.21	4.58	4.08	4.00	4.05	4.32	4.42	—	—
2019	4.54	4.58	4.77	4.47	4.46	4.26	4.25	4.24	4.55	4.08	4.11	4.11	4.38	4.51	—	—
2020	4.53	4.58	4.81	4.51	4.30	3.90	4.31	4.15	4.37	4.15	4.24	4.09	4.24	4.45	—	—
2021	4.56	4.63	4.73	4.53	4.54	4.04	4.40	4.19	4.66	4.23	4.26	4.12	4.27	4.41	4.46	4.23
2022	4.62	4.63	4.77	4.58	4.55	4.18	4.37	4.29	4.68	4.31	4.31	4.19	4.48	4.55	4.51	4.26
2023	4.51	4.60	4.68	4.43	4.55	4.09	4.26	4.22	4.53	4.22	4.15	3.93	4.14	4.21	4.29	4.35
2024	4.56	4.66	4.81	4.40	4.42	4.17	4.36	4.23	4.65	4.25	4.26	3.91	4.26	4.42	4.36	4.41
平均	4.47	4.51	4.72	4.35	4.34	4.02	4.18	4.08	4.46	4.01	3.86	3.93	4.19	4.28	4.41	4.31

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.55	4.48	4.69	4.38	4.03	3.82	4.03	4.13	4.39	3.95	3.86	3.86	4.16	4.03	—	—
2010	4.72	4.68	4.78	4.52	4.25	4.10	4.35	4.34	4.57	4.20	3.96	4.10	4.29	4.15	—	—
2011	4.49	4.41	4.64	4.38	4.15	4.03	4.09	4.07	4.46	4.01	3.90	3.99	4.19	4.08	—	—
2012	4.08	4.13	4.35	3.78	3.84	3.59	3.84	3.82	4.08	3.66	3.38	3.57	3.65	3.80	—	—
2013	4.27	4.24	4.53	4.15	4.17	3.99	4.22	4.19	4.28	3.89	3.72	3.96	4.10	4.23	—	—
2014	4.50	4.55	4.75	4.40	4.29	4.14	4.24	4.15	4.49	4.03	3.72	3.97	4.21	4.33	—	—
2015	4.50	4.53	4.76	4.31	4.39	4.17	4.33	4.30	4.51	3.94	3.64	4.06	4.28	4.33	—	—
2016	4.39	4.47	4.73	4.32	4.01	4.02	4.23	4.22	4.24	3.74	3.58	3.90	4.25	4.27	—	—
2017	4.48	4.56	4.76	4.42	4.23	4.11	4.19	4.25	4.40	3.88	3.60	3.98	4.29	4.36	—	—
2018	4.68	4.73	4.84	4.52	4.48	4.47	4.44	4.51	4.63	4.01	4.12	4.20	4.56	4.57	—	—
2019	4.45	4.56	4.77	4.36	4.26	4.19	4.25	4.20	4.41	3.88	3.99	4.02	4.26	4.38	—	—
2020	4.38	4.51	4.70	4.38	4.31	3.90	4.11	4.14	4.39	4.05	4.06	3.78	4.05	4.23	—	—
2021	4.69	4.67	4.80	4.55	4.54	4.26	4.40	4.37	4.65	4.21	4.19	4.09	4.37	4.40	4.58	4.52
2022	4.57	4.68	4.84	4.54	4.63	4.38	4.54	4.45	4.61	4.33	4.29	4.27	4.41	4.51	4.55	4.64
2023	4.48	4.64	4.85	4.47	4.44	4.28	4.26	4.27	4.65	4.13	4.18	3.93	4.29	4.31	4.55	4.33
2024	4.67	4.76	4.90	4.46	4.74	4.29	4.47	4.45	4.82	4.44	4.22	4.02	4.43	4.55	4.01	4.26
平均	4.49	4.54	4.73	4.37	4.30	4.11	4.25	4.24	4.47	4.02	3.90	3.98	4.24	4.28	4.42	4.43

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.45	4.48	4.69	4.24	4.12	3.92	4.05	4.00	4.42	3.89	3.81	3.88	4.16	4.03	—	—
2010	4.58	4.54	4.68	4.45	4.21	4.03	4.21	4.11	4.47	4.05	3.87	3.97	4.19	4.06	—	—
2011	4.45	4.40	4.64	4.25	4.11	3.89	3.98	3.91	4.36	3.94	3.71	3.79	4.03	4.00	—	—
2012	4.04	4.12	4.42	3.83	3.98	3.58	3.81	3.74	4.15	3.69	3.34	3.51	3.64	3.80	—	—
2013	4.43	4.39	4.66	4.25	4.27	3.91	4.05	4.05	4.35	3.89	3.65	3.94	4.14	4.26	—	—
2014	4.50	4.53	4.78	4.42	4.31	4.12	4.22	4.12	4.49	4.04	3.69	3.99	4.26	4.37	—	—
2015	4.49	4.49	4.76	4.29	4.39	4.09	4.25	4.21	4.46	3.83	3.59	3.94	4.26	4.35	—	—
2016	4.41	4.51	4.71	4.31	4.14	4.08	4.24	4.15	4.30	3.83	3.60	3.95	4.24	4.30	—	—
2017	4.50	4.54	4.77	4.40	4.30	4.10	4.23	4.18	4.42	3.87	3.58	3.95	4.28	4.37	—	—
2018	4.58	4.65	4.82	4.46	4.44	4.28	4.28	4.33	4.60	4.05	4.05	4.11	4.42	4.48	—	—
2019	4.49	4.57	4.77	4.42	4.36	4.23	4.25	4.22	4.48	3.98	4.05	4.07	4.32	4.44	—	—
2020	4.47	4.55	4.77	4.46	4.31	3.90	4.22	4.15	4.38	4.11	4.17	3.96	4.16	4.36	—	—
2021	4.61	4.65	4.76	4.54	4.54	4.13	4.40	4.27	4.66	4.22	4.23	4.10	4.31	4.41	4.51	4.36
2022	4.60	4.65	4.79	4.56	4.58	4.24	4.42	4.35	4.66	4.32	4.30	4.21	4.46	4.54	4.52	4.38
2023	4.50	4.62	4.76	4.45	4.50	4.18	4.26	4.24	4.59	4.18	4.17	3.93	4.21	4.26	4.41	4.34
2024	4.61	4.71	4.85	4.43	4.59	4.23	4.42	4.34	4.73	4.34	4.24	3.97	4.35	4.49	4.20	4.34
平均	4.48	4.52	4.73	4.36	4.32	4.06	4.21	4.15	4.47	4.01	3.88	3.95	4.21	4.28	4.41	4.36

表４－３：ベーシック科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.49	4.53	4.57	4.25	4.30	4.05	4.11	4.06	4.39	3.97	3.85	4.05	4.28	4.18	—	—
2010	4.61	4.60	4.78	4.45	4.54	4.22	4.23	4.28	4.60	4.04	3.82	4.17	4.41	4.21	—	—
2011	4.53	4.63	4.75	4.38	4.57	4.15	4.00	4.18	4.51	4.01	3.76	4.06	4.36	4.31	—	—
2012	4.38	4.55	4.72	4.38	4.47	4.16	4.18	4.16	4.45	3.98	3.65	4.08	4.32	4.41	—	—
2013	4.59	4.65	4.75	4.37	4.55	4.18	4.15	4.16	4.52	3.98	3.64	4.05	4.30	4.39	—	—
2014	4.55	4.51	4.68	4.31	4.47	4.10	4.27	4.12	4.49	3.99	3.73	4.00	4.30	4.37	—	—
2015	4.70	4.75	4.79	4.61	4.66	4.32	4.43	4.37	4.65	4.13	3.93	4.27	4.51	4.61	—	—
2016	4.53	4.62	4.71	4.40	4.54	4.18	4.34	4.22	4.54	3.98	3.76	4.12	4.40	4.47	—	—
2017	4.55	4.57	4.78	4.38	4.48	4.09	4.16	4.10	4.54	4.04	3.82	4.00	4.22	4.32	—	—
2018	4.63	4.71	4.82	4.50	4.57	4.29	4.24	4.31	4.61	4.14	4.15	4.20	4.44	4.54	—	—
2019	4.62	4.68	4.81	4.53	4.62	4.29	4.41	4.39	4.65	4.22	4.28	4.26	4.50	4.49	—	—
2020	4.57	4.69	4.83	4.49	4.48	4.00	4.28	4.21	4.57	4.35	4.35	4.32	4.41	4.57	—	—
2021	4.63	4.74	4.84	4.61	4.66	4.28	4.41	4.33	4.74	4.42	4.40	4.36	4.47	4.56	4.52	4.63
2022	4.72	4.83	4.91	4.73	4.73	4.44	4.51	4.37	4.81	4.53	4.51	4.53	4.65	4.71	4.37	4.47
2023	4.54	4.58	4.73	4.49	4.65	4.16	4.23	4.30	4.62	4.42	4.44	4.25	4.41	4.54	4.39	4.51
2024	4.56	4.69	4.86	4.52	4.56	4.30	4.33	4.38	4.68	4.45	4.31	4.35	4.48	4.56	4.24	4.42
平均	4.58	4.65	4.77	4.46	4.55	4.20	4.27	4.25	4.59	4.17	4.02	4.19	4.40	4.45	4.38	4.51

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.60	4.54	4.67	4.39	4.27	4.10	4.19	4.22	4.38	3.99	3.83	4.10	4.33	4.27	—	—
2010	4.65	4.67	4.75	4.50	4.53	4.29	4.32	4.29	4.51	4.04	3.79	4.27	4.41	4.35	—	—
2011	4.50	4.59	4.73	4.38	4.57	4.21	4.22	4.27	4.60	3.90	3.73	4.18	4.34	4.23	—	—
2012	4.61	4.67	4.77	4.52	4.46	4.23	4.24	4.24	4.51	4.11	3.81	4.15	4.35	4.48	—	—
2013	4.39	4.38	4.57	4.18	4.17	3.92	4.03	3.92	4.37	3.85	3.73	3.83	4.10	4.18	—	—
2014	4.57	4.57	4.68	4.41	4.52	4.29	4.28	4.26	4.54	4.05	3.90	4.16	4.36	4.43	—	—
2015	4.69	4.64	4.75	4.53	4.53	4.31	4.29	4.37	4.61	4.02	3.80	4.16	4.45	4.47	—	—
2016	4.64	4.73	4.81	4.55	4.58	4.37	4.39	4.38	4.66	4.00	3.75	4.23	4.53	4.55	—	—
2017	4.65	4.73	4.78	4.52	4.49	4.29	4.35	4.26	4.63	4.04	3.92	4.16	4.39	4.47	—	—
2018	4.73	4.75	4.85	4.66	4.76	4.50	4.56	4.50	4.75	4.33	4.30	4.42	4.62	4.68	—	—
2019	4.63	4.65	4.76	4.50	4.52	4.32	4.38	4.35	4.59	4.22	4.06	4.30	4.45	4.53	—	—
2020	4.73	4.76	4.89	4.66	4.61	4.27	4.47	4.48	4.72	4.35	4.38	4.41	4.51	4.64	—	—
2021	4.80	4.75	4.82	4.67	4.64	4.34	4.54	4.48	4.73	4.39	4.34	4.32	4.57	4.65	4.69	4.65
2022	4.74	4.79	4.88	4.69	4.63	4.45	4.51	4.52	4.69	4.52	4.35	4.39	4.60	4.68	4.30	4.22
2023	4.69	4.76	4.78	4.62	4.60	4.34	4.58	4.51	4.69	4.49	4.49	4.29	4.55	4.57	4.62	4.59
2024	4.64	4.65	4.78	4.38	4.60	4.27	4.41	4.28	4.63	4.49	4.24	4.22	4.37	4.42	4.03	3.96
平均	4.64	4.66	4.77	4.51	4.53	4.28	4.36	4.33	4.60	4.17	4.03	4.22	4.43	4.47	4.41	4.35

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.54	4.61	4.31	4.29	4.07	4.14	4.13	4.39	3.97	3.84	4.07	4.30	4.21	—	—
2010	4.63	4.63	4.77	4.47	4.54	4.24	4.26	4.28	4.57	4.04	3.81	4.20	4.41	4.26	—	—
2011	4.52	4.61	4.74	4.38	4.57	4.17	4.07	4.21	4.54	3.97	3.75	4.10	4.35	4.28	—	—
2012	4.48	4.60	4.74	4.44	4.47	4.19	4.21	4.19	4.48	4.04	3.72	4.11	4.33	4.44	—	—
2013	4.50	4.52	4.66	4.28	4.37	4.05	4.09	4.05	4.45	3.92	3.69	3.94	4.21	4.29	—	—
2014	4.56	4.54	4.68	4.36	4.50	4.20	4.27	4.20	4.52	4.02	3.82	4.08	4.33	4.40	—	—
2015	4.69	4.70	4.78	4.57	4.60	4.31	4.37	4.37	4.63	4.08	3.87	4.22	4.48	4.54	—	—
2016	4.59	4.68	4.76	4.48	4.56	4.28	4.36	4.30	4.60	3.99	3.75	4.17	4.46	4.51	—	—
2017	4.60	4.65	4.78	4.45	4.48	4.19	4.26	4.18	4.58	4.04	3.87	4.08	4.30	4.40	—	—
2018	4.68	4.73	4.83	4.58	4.67	4.40	4.41	4.41	4.68	4.25	4.23	4.31	4.54	4.61	—	—
2019	4.62	4.66	4.78	4.51	4.57	4.31	4.39	4.37	4.62	4.22	4.17	4.28	4.48	4.51	—	—
2020	4.64	4.73	4.86	4.57	4.54	4.13	4.37	4.33	4.64	4.35	4.37	4.36	4.46	4.60	—	—
2021	4.71	4.75	4.83	4.64	4.65	4.31	4.47	4.40	4.73	4.41	4.37	4.34	4.52	4.60	4.60	4.64
2022	4.73	4.82	4.90	4.71	4.70	4.44	4.51	4.43	4.76	4.53	4.45	4.48	4.63	4.70	4.35	4.37
2023	4.60	4.65	4.75	4.54	4.63	4.23	4.36	4.38	4.65	4.45	4.46	4.27	4.47	4.55	4.48	4.54
2024	4.59	4.67	4.83	4.47	4.58	4.29	4.36	4.34	4.66	4.47	4.28	4.30	4.44	4.51	4.17	4.28
平均	4.60	4.66	4.77	4.49	4.54	4.24	4.31	4.29	4.59	4.17	4.03	4.21	4.42	4.46	4.40	4.46

表４－４：アドバンスト科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.62	4.71	4.77	4.51	4.56	4.39	4.37	4.39	4.65	4.07	4.07	4.32	4.53	4.35	—	—
2010	4.64	4.67	4.74	4.48	4.56	4.39	4.42	4.48	4.64	4.07	4.01	4.27	4.54	4.42	—	—
2011	4.61	4.63	4.75	4.46	4.64	4.34	4.36	4.36	4.63	4.16	4.17	4.31	4.50	4.38	—	—
2012	4.60	4.63	4.77	4.51	4.60	4.39	4.45	4.35	4.67	4.12	4.07	4.28	4.52	4.58	—	—
2013	4.55	4.57	4.68	4.41	4.46	4.27	4.35	4.24	4.57	4.07	4.10	4.21	4.43	4.48	—	—
2014	4.60	4.62	4.74	4.46	4.56	4.35	4.40	4.33	4.65	4.11	4.02	4.25	4.49	4.54	—	—
2015	4.58	4.63	4.71	4.48	4.55	4.41	4.39	4.38	4.66	4.09	3.97	4.26	4.51	4.54	—	—
2016	4.60	4.66	4.76	4.45	4.50	4.28	4.35	4.28	4.59	4.10	3.92	4.23	4.44	4.51	—	—
2017	4.64	4.65	4.74	4.45	4.50	4.26	4.37	4.23	4.62	4.06	4.00	4.22	4.45	4.54	—	—
2018	4.71	4.72	4.76	4.54	4.59	4.46	4.49	4.53	4.69	4.09	4.25	4.37	4.57	4.63	—	—
2019	4.66	4.73	4.84	4.58	4.64	4.50	4.52	4.47	4.72	4.19	4.27	4.39	4.62	4.68	—	—
2020	4.49	4.55	4.73	4.39	4.36	4.11	4.32	4.29	4.48	4.10	4.22	4.19	4.38	4.48	—	—
2021	4.75	4.79	4.84	4.65	4.71	4.45	4.60	4.56	4.78	4.49	4.39	4.39	4.62	4.69	4.56	4.59
2022	4.74	4.78	4.87	4.68	4.76	4.54	4.63	4.59	4.81	4.46	4.42	4.47	4.67	4.70	4.52	4.38
2023	4.66	4.68	4.77	4.59	4.66	4.43	4.42	4.42	4.68	4.39	4.37	4.31	4.50	4.55	4.26	4.30
2024	4.70	4.73	4.79	4.60	4.69	4.51	4.52	4.55	4.79	4.43	4.39	4.38	4.65	4.71	4.36	4.52
平均	4.63	4.67	4.77	4.52	4.58	4.38	4.43	4.40	4.66	4.19	4.16	4.30	4.53	4.55	4.43	4.45

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.57	4.61	4.74	4.47	4.58	4.38	4.42	4.45	4.68	4.09	4.17	4.28	4.51	4.41	—	—
2010	4.64	4.61	4.67	4.50	4.61	4.38	4.42	4.36	4.62	4.18	4.20	4.28	4.43	4.40	—	—
2011	4.64	4.67	4.74	4.46	4.58	4.44	4.40	4.39	4.66	4.06	4.04	4.27	4.55	4.40	—	—
2012	4.58	4.67	4.74	4.50	4.61	4.31	4.31	4.36	4.61	4.10	4.06	4.18	4.44	4.47	—	—
2013	4.56	4.62	4.66	4.43	4.55	4.28	4.31	4.30	4.62	4.12	4.12	4.19	4.40	4.43	—	—
2014	4.68	4.71	4.79	4.59	4.65	4.43	4.49	4.37	4.69	4.22	4.18	4.31	4.58	4.66	—	—
2015	4.63	4.71	4.74	4.54	4.65	4.47	4.44	4.37	4.69	4.16	4.17	4.35	4.53	4.57	—	—
2016	4.71	4.73	4.81	4.56	4.57	4.34	4.39	4.26	4.69	4.13	4.05	4.26	4.57	4.64	—	—
2017	4.74	4.78	4.87	4.58	4.67	4.53	4.44	4.40	4.74	4.20	4.15	4.41	4.66	4.70	—	—
2018	4.76	4.75	4.78	4.64	4.73	4.58	4.51	4.50	4.76	4.34	4.34	4.46	4.65	4.70	—	—
2019	4.70	4.73	4.83	4.59	4.69	4.51	4.52	4.51	4.76	4.36	4.34	4.48	4.65	4.70	—	—
2020	4.64	4.66	4.78	4.55	4.59	4.36	4.36	4.40	4.66	4.46	4.33	4.37	4.57	4.65	—	—
2021	4.64	4.69	4.77	4.54	4.62	4.43	4.44	4.39	4.70	4.35	4.30	4.34	4.53	4.60	4.47	4.45
2022	4.73	4.74	4.83	4.57	4.72	4.52	4.45	4.43	4.75	4.47	4.45	4.45	4.59	4.67	4.41	4.40
2023	4.63	4.71	4.78	4.59	4.70	4.49	4.48	4.49	4.78	4.54	4.43	4.42	4.59	4.63	4.43	4.53
2024	4.69	4.74	4.86	4.59	4.68	4.40	4.41	4.40	4.75	4.48	4.32	4.39	4.53	4.65	4.47	4.51
平均	4.66	4.70	4.77	4.54	4.64	4.43	4.42	4.40	4.70	4.27	4.23	4.34	4.55	4.58	4.44	4.47

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.59	4.65	4.75	4.48	4.57	4.39	4.40	4.42	4.67	4.08	4.13	4.29	4.52	4.38	—	—
2010	4.64	4.63	4.70	4.49	4.59	4.39	4.42	4.42	4.63	4.13	4.11	4.28	4.48	4.41	—	—
2011	4.62	4.65	4.75	4.46	4.62	4.39	4.38	4.38	4.65	4.12	4.11	4.29	4.53	4.39	—	—
2012	4.59	4.65	4.75	4.51	4.61	4.34	4.37	4.35	4.64	4.11	4.07	4.22	4.47	4.52	—	—
2013	4.56	4.60	4.67	4.42	4.51	4.28	4.33	4.27	4.60	4.10	4.11	4.20	4.41	4.45	—	—
2014	4.64	4.66	4.76	4.52	4.60	4.38	4.43	4.35	4.67	4.16	4.09	4.27	4.53	4.59	—	—
2015	4.61	4.67	4.72	4.51	4.60	4.44	4.41	4.38	4.68	4.13	4.07	4.31	4.52	4.55	—	—
2016	4.66	4.69	4.79	4.50	4.54	4.31	4.37	4.27	4.64	4.11	3.99	4.24	4.50	4.57	—	—
2017	4.68	4.71	4.80	4.51	4.57	4.37	4.40	4.30	4.67	4.12	4.06	4.30	4.54	4.60	—	—
2018	4.73	4.73	4.77	4.59	4.66	4.52	4.50	4.51	4.72	4.22	4.29	4.42	4.61	4.66	—	—
2019	4.68	4.73	4.84	4.59	4.66	4.51	4.52	4.49	4.74	4.27	4.30	4.43	4.63	4.69	—	—
2020	4.57	4.61	4.76	4.47	4.48	4.24	4.34	4.35	4.58	4.29	4.28	4.29	4.48	4.57	—	—
2021	4.69	4.73	4.80	4.59	4.66	4.44	4.51	4.46	4.73	4.41	4.34	4.36	4.57	4.64	4.51	4.51
2022	4.73	4.76	4.85	4.62	4.74	4.53	4.54	4.50	4.78	4.47	4.44	4.46	4.63	4.68	4.47	4.39
2023	4.64	4.69	4.78	4.59	4.68	4.46	4.45	4.46	4.74	4.48	4.40	4.37	4.55	4.60	4.36	4.44
2024	4.69	4.74	4.83	4.60	4.69	4.45	4.46	4.47	4.77	4.46	4.35	4.39	4.58	4.68	4.42	4.51
平均	4.65	4.68	4.77	4.53	4.61	4.40	4.43	4.40	4.68	4.23	4.20	4.32	4.53	4.56	4.44	4.46

(2) 科目別学生満足度

表4-5は、コア科目、ベーシック科目、アドバンスト科目の科目群別に、設問12の「この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか」、設問13の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」、設問14の「この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか」の科目ごとの平均（小数点第3位で四捨五入）を示したものである。各科目の授業の平均値については、履修者が抱える個別事情など様々な事情も絡んでいる。個々の教員がそれぞれに適切に分析し、今後の授業に生かしていくことが求められるであろう。

特に設問13の総合満足度が4.0を下回る科目として、コア科目で1科目、ベーシック科目で6科目、そしてアドバンスト科目で6科目あり、それらの科目についての改善が求められる。

表4-5：科目ごとの回答の平均値

春学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	1	39	3.70	4.27	4.33
経営学	1	27	4.18	4.06	4.24
経営学	2	24	3.81	4.19	4.25
会計学	1	26	3.68	4.05	4.42
経済学	1	18	4.24	4.71	4.69
統計学	1	27	4.10	3.89	4.35
統計学	2	34	4.07	4.35	4.68
英語コミュニケーション	1	12	3.70	4.27	4.18
英語コミュニケーション	2	23	3.76	4.53	4.53

秋学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	2	52	3.96	4.28	4.45
経営学	3	27	4.45	4.73	4.82
会計学	2	20	4.23	4.77	4.77
経済学	2	29	4.38	4.76	4.86
統計学	3	50	4.07	4.07	4.38
英語コミュニケーション	3	30	3.16	4.52	4.40
英語コミュニケーション	4	17	3.75	4.64	4.57

春学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	1	28	4.46	4.63	4.67
経営戦略A		16	4.64	4.45	4.64
ビジネスプランニング		24	4.48	4.43	4.62
マーケティング・マネジメント	1	25	4.85	4.95	4.89
マーケティング・マネジメントA		16	4.58	4.50	4.50
コーポレート・ファイナンス基礎	1	21	4.60	4.85	4.95
財務・管理会計		16	4.45	4.27	4.73
テクノロジー・マネジメント	1	28	4.26	4.79	4.84
情報システム		27	4.38	4.44	4.63
ベンチャービジネス	1	24	4.05	4.38	4.43
公共経営論	1	9	3.50	4.14	4.14
行動科学		18	4.36	4.55	4.73
統計分析論		19	3.94	3.88	4.12
ゲーム理論	1	6	3.75	4.25	4.25
上級英語コミュニケーション	1	1	4.00	4.00	4.00
イノベティブ・シンキングA		46	4.42	4.37	4.32
コーチング論		16	3.43	3.29	3.43
店舗施設マネジメント		16	4.38	4.77	4.54

秋学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	2	34	4.08	3.92	4.17
人的資源管理		40	3.82	3.82	4.18
マーケティング・マネジメント	2	18	4.89	5.00	5.00
コーポレート・ファイナンス基礎	2	26	4.33	4.60	4.60
財務諸表分析		41	4.33	4.63	4.63
テクノロジー・マネジメント	2	12	4.50	5.00	5.00
テクノロジー・マネジメントA		13	4.71	5.00	5.00
公共経営論	2	9	4.57	4.71	4.57
ゲーム理論	2	12	3.22	3.67	3.00
会社法		8	3.00	2.80	3.40
上級英語コミュニケーション	2	4	3.75	5.00	5.00
イノベティブ・シンキング		23	4.50	4.42	4.50
コンサルティングプロセス		16	4.55	4.73	4.73

春学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
管理会計		20	4.23	4.62	4.62
組織管理	1	34	4.14	4.55	4.66
地域振興		20	3.71	4.36	4.36
Business Negotiation		4	4.67	4.67	5.00
マーケティング・コミュニケーション	1	11	4.27	4.82	4.82
営業戦略		12	4.00	3.57	3.86
流通システム		6	4.50	5.00	5.00
消費者行動		9	4.29	4.71	4.86
ソーシャル・マネジメント		29	3.10	2.90	3.50
リスクマネジメント		6	4.20	4.40	4.20
行動経済学		26	4.45	4.50	4.65
イノベーション経営		19	4.64	4.86	4.86
製品開発		8	4.20	4.40	4.40
標準化経営戦略		9	4.60	4.80	5.00
知的財産戦略		5	5.00	5.00	5.00
Product Innovation		2	3.00	4.00	4.00
ベンチャービジネス事例研究		16	4.47	4.81	4.81
ベンチャー型事業承継		6	4.67	5.00	5.00
中小企業経営革新		13	4.10	4.30	4.40
DX戦略・マーケティング		31	4.41	4.69	4.72
ベンチャーファイナンス		6	4.60	5.00	5.00
企業経営戦略特論A		7	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論E		24	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論I		38	4.20	4.80	4.84
課題研究基礎	3	7	4.67	4.67	4.83
課題研究基礎	6	12	4.40	4.82	4.91
課題研究	3	5	4.67	5.00	5.00
課題研究	5	5	4.75	4.50	4.50
課題研究	13	3	4.50	5.00	5.00
課題研究	17	7	5.00	5.00	5.00
課題研究	21	6	4.67	5.00	5.00
課題研究	25	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	27	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	29	5	5.00	5.00	5.00
経営戦略策定実習I	1	7	5.00	5.00	5.00
経営戦略策定実習I	2	6	4.50	4.50	4.50
公共政策		4	5.00	5.00	5.00
自治体経営		2	4.50	4.00	4.50
病院経営		10	4.63	4.75	4.88
病院会計		4	5.00	5.00	5.00
病院経営事例研究		10	4.50	4.67	4.67
大学経営事例研究		2	4.00	4.50	4.50
大学組織管理		1	5.00	5.00	5.00
税務戦略		5	4.50	5.00	5.00
組織診断		16	4.55	5.00	5.00
人材マネジメントA		16	4.91	5.00	5.00
流通業総合演習		13	4.33	4.67	4.67

秋学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
組織行動		39	4.35	4.61	4.70
コーポレート・ファイナンス応用		10	4.70	4.80	4.90
組織管理	2	31	3.33	3.60	3.80
NPOマネジメント		10	4.25	4.60	5.00
事業システム戦略論		40	4.44	4.63	4.74
経営戦略事例研究		16	4.46	4.77	4.77
サービス・マーケティング		23	4.38	4.38	4.63
サービス・マネジメント		25	3.50	3.67	3.50
チャンネル・マネジメント		4	4.75	4.75	4.75
ブランド・マネジメント		23	4.53	5.00	4.93
マーケティング・コミュニケーション	2	14	4.70	4.90	5.00
ロジスティクス		13	2.00	4.00	4.00
国際マーケティング		7	3.80	4.20	4.60
マーケティング・リサーチ		25	4.50	4.35	4.60
証券投資		20	4.25	4.75	4.75
行動ファイナンス		12	4.50	4.80	4.90
マーケットデータ解析		10	4.50	4.88	4.88
生産システム		15	4.10	4.30	4.50
データマイニング		31	4.43	4.52	4.71
製品開発事例研究		4	5.00	5.00	5.00
システム・シンキング		48	4.13	3.40	4.07
システム・デザイン演習		35	4.83	4.50	4.80
中小企業経営・承継		20	4.17	4.39	4.44
M&A・再生・承継ストラクチャリング		22	4.25	4.35	4.45
知的財産権法		7	4.33	4.83	4.83
企業経営戦略特論C		7	4.57	5.00	5.00
企業経営戦略特論F		26	4.75	5.00	5.00
課題研究基礎	4	1	5.00	5.00	5.00
課題研究基礎	7	5	4.80	5.00	5.00
課題研究基礎	8	14	4.50	5.00	5.00
課題研究基礎	9	22	4.76	4.82	4.82
企業経営戦略特論M		27	4.05	4.14	4.33
課題研究	4	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	6	4	4.50	5.00	5.00
課題研究	22	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	24	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	26	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	30	4	5.00	5.00	5.00
経営診断実習（流通業）	1	8	4.60	4.80	4.40
経営診断実習（流通業）	2	8	4.50	4.00	4.33
経営診断実習（製造業）	1	8	4.50	4.50	5.00
経営戦略策定実習II	1	7	5.00	5.00	5.00
経営戦略策定実習II	2	6	4.50	5.00	5.00
官民パートナーシップ論		3	4.00	5.00	5.00
公共政策事例研究／公共経営事例研究		4	4.33	5.00	5.00
自治体財務管理		2	5.00	5.00	5.00
病院組織管理		8	4.80	4.60	4.80
医療経済学		31	4.43	4.43	4.71
地域医療マネジメント		5	4.67	4.67	4.67
医療サービス・マネジメント		2	5.00	5.00	5.00
大学経営		3	4.33	4.67	4.67
マーケティング戦略（BtoB）営業マネジメント		16	3.73	3.91	4.00
生産マネジメント		16	4.64	4.91	5.00
生産イノベーション		16	4.50	4.50	5.00
DX戦略・オペレーション		16	4.00	4.50	4.50

B. 教員による担当科目自己評価

教員による担当科目自己評価は Web 上でのアンケート形式で実施されている。主な質問項目とその集計結果を以下に示す。

[主な質問項目]	
1.	授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。
2.	学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。
3.	個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。
4.	学生の質問に丁寧に答えましたか。
5.	この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。
6.	この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。
7.	この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。
8.	この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可)
9.	上記 1～8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。

表 4－6：教員による担当科目自己評価集計結果

設問	開講期	そう思う	だいたいそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当しない	未回答	総計
1	春	39	32	2	2				75
1	夏	5	6						11
1	秋	45	32	1			1		79
1	冬	6	5						11
2	春	42	29	4					75
2	夏	8	3						11
2	秋	46	31	2					79
2	冬	8	3						11
3	春	30	37	7				1	75
3	夏	1	8	2					11
3	秋	32	36	10	1				79
3	冬	4	7						11
4	春	42	33						75
4	夏	8	3						11
4	秋	48	30	1					79
4	冬	6	4	1					11
5	春	30	38	5	1			1	75
5	夏	4	7						11
5	秋	25	46	8					79
5	冬	3	7	1					11
6	春	29	37	7	2				75
6	夏	6	5						11
6	秋	29	40	6	3		1		79
6	冬	6	3	2					11
7	春	29	37	7	2				75
7	夏	7	3	1					11
7	秋	35	30	14					79
7	冬	4	5	2					11
9	春	29	42	3	1				75
9	夏	6	5						11
9	秋	31	41	5	1		1		79
9	冬	5	5	1					11
合計		648	650	92	13	0	3	2	1406

ほとんどの教員が、「そう思う」もしくは「だいたいそう思う」と回答しており、満足のいく講義を行っていることがわかる。

ただし、少数であるが、「あまりそう思わない」との回答もある。こうした回答をする理由や、教員側の評価と学生の評価との乖離の有無などについて今後解析する必要があるであろう。

5. Business School, International Management Course

(経営戦略専攻国際経営コース)

A. Course evaluation by students

In this section, we discuss results of the academic year (hereafter, AY) 2024 course evaluation survey for IMC courses. Table 5-1 shows the list of questions asked in the survey. Q14: “*Course content were highly relevant and useful for your future career*” is a question item unique to IMC course evaluation survey.

Table 5-1: Questions asked in the course evaluation by students for AY2024

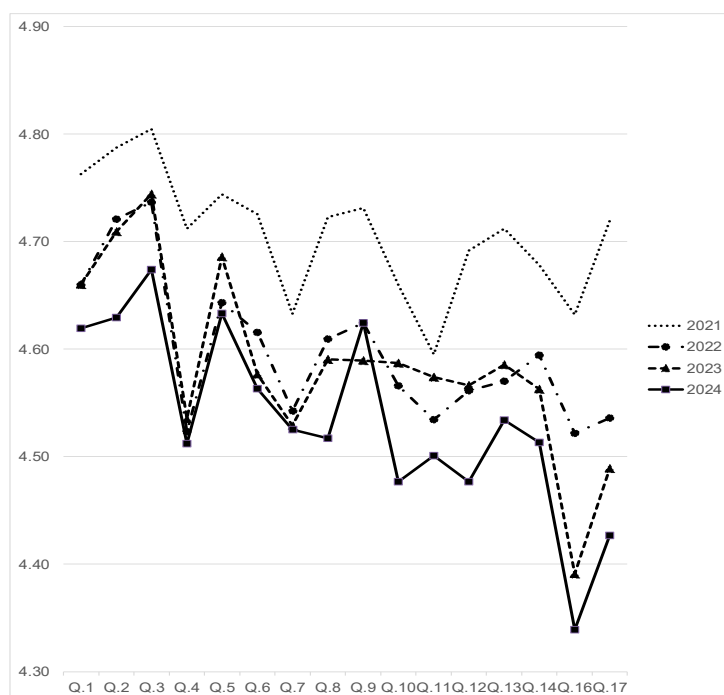
Q1	The course met the objectives and topics described in the syllabus.
Q2	The instructor was well prepared for the classes.
Q3	The instructor's knowledge level was high enough to teach the course.
Q4	The prescribed textbooks and teaching materials were helpful for your learning.
Q5	The instructor encouraged students comment and discussion.
Q6	Instructor's interest in whether students learned was high.
Q7	The amount of work assigned was reasonable.
Q8	The course was well organized in terms of contents and time allocation.
Q9	The instructor answered students' questions clearly and sufficiently.
Q10	You prepared and reviewed proactively for the course.
Q11	You studied a reference that the instructor suggested.
Q12	You have obtained analytical abilities and critical thinking from the course.
Q13	Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students.
Q14	Course content were highly relevant and useful for your future career.
Q16	You had no problem taking this course online.
Q17	The instructor was proficient in teaching online.

Results are shown for the spring semester, the fall semester, as well as for the whole year, in comparison with those for AY2022 and AY2023 (Table 5-2). The comparison of the whole year results for 2021 to 2024 is also shown graphically in Figure 5-1.

Table 5-2: Results of course evaluation by students for AY2024 (as compared to AY2022 and AY2023, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.65	4.70	4.74	4.56	4.68	4.65	4.60	4.66	4.65	4.58	4.52	4.57	4.58	4.61	4.56	4.55
	2023	4.71	4.74	4.78	4.63	4.69	4.57	4.58	4.66	4.61	4.63	4.64	4.61	4.61	4.58	4.44	4.55
	2024	4.62	4.67	4.70	4.53	4.68	4.62	4.53	4.53	4.65	4.51	4.54	4.55	4.58	4.57	4.33	4.47
Fall semester	2022	4.67	4.74	4.73	4.48	4.60	4.58	4.48	4.56	4.60	4.56	4.55	4.55	4.56	4.58	4.47	4.52
	2023	4.61	4.68	4.71	4.44	4.68	4.58	4.47	4.52	4.57	4.54	4.51	4.52	4.56	4.55	4.34	4.42
	2024	4.61	4.60	4.65	4.49	4.59	4.51	4.52	4.51	4.60	4.44	4.47	4.41	4.49	4.46	4.35	4.39
Whole year	2022	4.66	4.72	4.74	4.52	4.64	4.62	4.54	4.61	4.62	4.57	4.53	4.56	4.57	4.59	4.52	4.54
	2023	4.66	4.71	4.74	4.54	4.69	4.58	4.53	4.59	4.59	4.59	4.57	4.57	4.59	4.56	4.39	4.49
	2024	4.62	4.63	4.67	4.51	4.63	4.56	4.53	4.52	4.62	4.48	4.50	4.48	4.53	4.51	4.34	4.43

Figure 5-1: Results of course evaluation (whole year) by students from AY2021 to AY2024



Overall evaluation by students is barely positive for AY2024. Averaged response scores for most questions exceed 4.5, with exceptions of Q10, 12, 16, and 17, while none is below 4.0. Although it is encouraging to see students expressed satisfaction with most of the questions, it also is important to note that we failed to exceed 4.5 for four out of 16 questions.

Even more alarming is the consecutive drop in the degree of satisfaction as shown in Figure 5-1. It is regrettable to report that evaluation by students for AY2024 are less favorable than AY2022 (for all questions), when averaged scores declined for all question items from the previous year. Comparison against AY2023 is no more favorable. Specifically, averaged scores are lower than those of AY2023 for all questions, except for Q9: “*The instructor answered students’ questions clearly and sufficiently*” which showed modest but encouraging improvements. Regrettably enough, AY2024 was the third year when students feel they suffer from increasingly poorer learning experience than the previous year.

The declining averaged score for Q14: “*Course content were highly relevant and useful for your future career*” shows the consecutive drop in students’ satisfaction with their overall learning experience at IMC. Given that decrease in scores is particularly salient with some questions, there seems to be three underlying problems for the overall drop in students’ satisfaction.

The first problem is concerned with instructors’ teaching, as shown in substantial drops in Q2: “*The instructor was well prepared for the classes*” and Q3: “*The instructor’s knowledge level was high enough to teach the course.*” Close examination of students’ comments on unfavorably evaluated courses reveals aspects of teaching they are dissatisfied with. For example, a student for a Core course described that the professor “*encouraged students to talk about case studies a lot, but the students felt the solutions were too abrupt or vague. It was a little difficult to understand what they should take away from the class.*” Another student shared the learning difficulty experienced in a Basic course because “*there’s not enough in-depth information introduced by the instructor about the subject other than the plain explanation that’s straight from the PowerPoint slides or textbook definition. It was*

also regrettable that the instructor couldn't help students who wanted to know more about the subject's real world application, due to the lack of industry experience. It is understandable that some instructors of IMC are mainly academic and does not have much industry expertise. However, the instructor still need to improve on teaching skill, to engage with student more to make up for the lack of experience. I'm concerned that some of the students will leave this class learning nothing new or constructive." It should be difficult to have effective educational interactions when students have to tell instructors that they "should realize their own answers may be neither the best nor absolute," or when students question basic qualification of instructors as they feel "the language limitations of some Japanese professors makes class more difficult to understand." The issue is particularly prevalent in finance courses. The fraction of finance courses among courses evaluated as <4.5 is 63.2% (12 out of 19 courses) for Q2, and 64.7% (11 out of 17 courses) for Q3, respectively.

It is not difficult to understand the lower readiness to learn on the side of students as a consequence of unfavorably evaluated teaching mentioned above. Specifically, we observe drops in average scores for Q10: "You prepared and reviewed proactively for the course," Q11: "You studied a reference that the instructor suggested," and Q12: "You have obtained analytical abilities and critical thinking from the course." For Q12 in particular, averaged scores shows the largest drop among 15 items with lower scores than AY2023.

Secondly, students express deepening dissatisfaction with overall design of the course as indicated by declining averaged scores for Q8: "The course was well organized in terms of contents and time allocation." For example, some student voiced their dissatisfaction that some courses are run without checking students' understanding by pointing out the course "was paced too quickly." Another student described in more detail how the course was difficult to follow; "I wish there was a more concise way to show how problems were solved without moving on so fast. Equations were shown for just a split second before disappearing. This could have easily been remedied by having the equations written out on the excel sheet next to answers when doing in class work. Moreover, there was way too much homework each month. With how fast paced the class was, I had trouble keeping up, resorting to studying the textbook instead of paying attention in class.... This meant I had to read and review the textbook while also answering all 40+ questions we had for homework. It would be great if explanations in class were more organized and easier to follow. The content would be 10x easier to understand if it was easier for students to look back at previous equations, answers, and explanations not in video form. (We can't look back at a class recording in class)" The amount of assignment as a source of dissatisfaction is echoed by a student of other course whose "class work involved watching far too many movies.... an overbearing amount of case studies and related homework." Big assignments are not necessarily inappropriate, but when students are not fully convinced with the expected educational effect, they are.

The third source of students' continuing dissatisfaction is on-line class as indicated by declining scores for Q16: "You had no problem taking this course online" and Q17: "The instructor was proficient in teaching online." Given that IMC courses are regulated to be offered in an in-person format, the results show the importance to control the expectation of both current and prospective students. Some group interview participant expressed strong preference in an on-line format by saying that they "chose this university because of the online option, and also recommends it to their friends who are considering university options." They quite naturally feel disappointed with in-person format courses, or when "professors noticeably give better attention and care to students who come to class over those who attend online" in hyflex format courses. We should inform current as well as prospective

students that IMC courses should be offered in an in-person format, while hyflex or on-line format are offered only as an exception. As for those exceptional cases in which courses are offered in a hyflex format, instructors should be advised to make sure that on-line participants feel closely involved in class discussions.

Below, we discuss students' evaluation results by three layers of our courses, i.e., Core, Basic, and Advanced courses.

Table 5-3: Results of Core course evaluation by students for AY2024 (as compared to AY2022 and AY2023, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.49	4.51	4.61	4.37	4.51	4.50	4.42	4.51	4.52	4.39	4.38	4.38	4.35	4.45	4.29	4.38
	2023	4.55	4.63	4.68	4.46	4.50	4.40	4.63	4.58	4.40	4.43	4.57	4.28	4.38	4.35	4.03	4.29
	2024	4.59	4.60	4.67	4.46	4.66	4.56	4.54	4.45	4.64	4.50	4.48	4.46	4.47	4.51	4.45	4.45
Fall semester	2022	4.49	4.56	4.63	4.32	4.44	4.46	4.39	4.49	4.44	4.27	4.39	4.39	4.39	4.37	4.21	4.35
	2023	4.66	4.75	4.75	4.53	4.71	4.62	4.43	4.60	4.67	4.62	4.51	4.45	4.64	4.43	4.20	4.44
	2024	4.58	4.57	4.65	4.39	4.44	4.30	4.47	4.37	4.58	4.12	4.04	4.11	4.35	4.26	4.00	4.05
Whole year	2022	4.49	4.52	4.62	4.35	4.48	4.49	4.41	4.50	4.49	4.35	4.38	4.38	4.37	4.42	4.26	4.37
	2023	4.61	4.70	4.72	4.50	4.62	4.53	4.52	4.59	4.55	4.54	4.53	4.38	4.53	4.40	4.13	4.37
	2024	4.58	4.59	4.66	4.43	4.57	4.46	4.51	4.42	4.61	4.35	4.31	4.32	4.42	4.41	4.29	4.30

Table 5-4: Results of Basic course evaluation by students for AY2024 (as compared to AY2022 and AY2023, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.63	4.74	4.74	4.52	4.66	4.57	4.51	4.60	4.57	4.60	4.49	4.52	4.51	4.52	4.55	4.48
	2023	4.70	4.72	4.81	4.64	4.64	4.53	4.43	4.61	4.60	4.66	4.62	4.66	4.57	4.68	4.67	4.73
	2024	4.71	4.74	4.77	4.64	4.71	4.72	4.56	4.65	4.66	4.65	4.59	4.62	4.62	4.60	4.41	4.49
Fall semester	2022	4.66	4.79	4.75	4.43	4.67	4.54	4.35	4.46	4.60	4.55	4.49	4.51	4.49	4.58	4.34	4.38
	2023	4.69	4.71	4.78	4.50	4.78	4.58	4.36	4.51	4.67	4.56	4.64	4.60	4.60	4.61	4.35	4.47
	2024	4.63	4.61	4.67	4.55	4.60	4.57	4.43	4.55	4.61	4.50	4.60	4.47	4.48	4.51	4.44	4.48
Whole year	2022	4.65	4.77	4.75	4.47	4.67	4.55	4.41	4.52	4.59	4.57	4.49	4.51	4.50	4.56	4.43	4.43
	2023	4.70	4.72	4.79	4.57	4.71	4.55	4.39	4.56	4.63	4.61	4.63	4.63	4.59	4.65	4.52	4.61
	2024	4.66	4.68	4.72	4.59	4.66	4.64	4.49	4.60	4.64	4.57	4.59	4.54	4.55	4.55	4.42	4.48

Table 5-5: Results of Advanced course evaluation by students for AY2024 (as compared to AY2022 and AY2023, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2022	4.80	4.85	4.86	4.75	4.85	4.83	4.82	4.82	4.81	4.72	4.66	4.76	4.82	4.80	4.81	4.74
	2023	4.77	4.78	4.81	4.69	4.77	4.65	4.63	4.70	4.68	4.69	4.67	4.70	4.70	4.62	4.48	4.57
	2024	4.58	4.66	4.66	4.51	4.68	4.58	4.49	4.49	4.65	4.39	4.54	4.59	4.67	4.61	4.13	4.46
Fall semester	2022	4.76	4.77	4.74	4.62	4.60	4.68	4.66	4.70	4.67	4.70	4.69	4.68	4.71	4.68	4.73	4.73
	2023	4.54	4.63	4.65	4.36	4.63	4.57	4.55	4.48	4.47	4.49	4.44	4.53	4.51	4.58	4.40	4.38
	2024	4.62	4.59	4.64	4.50	4.64	4.57	4.60	4.55	4.60	4.56	4.57	4.51	4.56	4.53	4.43	4.46
Whole year	2022	4.78	4.81	4.81	4.69	4.73	4.76	4.74	4.76	4.74	4.71	4.67	4.72	4.77	4.74	4.78	4.73
	2023	4.67	4.71	4.73	4.54	4.71	4.61	4.59	4.60	4.59	4.60	4.57	4.62	4.61	4.60	4.45	4.49
	2024	4.61	4.62	4.65	4.51	4.66	4.58	4.56	4.52	4.62	4.49	4.56	4.54	4.60	4.56	4.30	4.46

As is shown in Table 5-3, Core courses suffered from the drop in all questions, except for Q9, Q14, and 16. Furthermore, Core courses are evaluated less favorably than the overall average (i.e., all three layers combined) for all questions. Table 5-4 reveals that Basic courses show improvements in five out of 16 question items. In terms of the comparison against the overall average, Basic courses are evaluated more favorably for all questions, except for Q7, thereby partially compensating for poor performance of Core and Advanced courses. As for Advanced courses, all items show lower averaged scores than AY2022 (Table 5-5), except for Q9. Advanced courses are compared less

favorably against the overall average for five out of 16 questions, which means Advanced courses also drag down overall satisfaction. Accordingly, the above mentioned drop in overall evaluation scores are mainly attributed to declining performance of Advanced and Core courses, as well as modest, but no less significant drop in Basic courses. It is important to note that even those improving scores (as compared to AY2023) for Basic, Core, and Advanced courses are still lower than those of AY2021. It used to be that students evaluated Advanced courses more favorably than Core or Basic courses. However, satisfaction with Advanced courses drop below that for Basic courses for AY2024, particularly in terms of students' evaluation on instructors' teaching (Q1-4). It is a serious problem because lower satisfaction with courses of highly advanced learning contents may negatively influence overall satisfaction with IMC program as a whole.

Unfavorable evaluation for Advanced courses is confirmed by analysis of evaluation scores for each course (Tables 5-6 to 5-8). Counts of courses with the average score of less than 4.0 for Q13: *“Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students”* (as an indicator of overall satisfaction with the course) are one in Core course layer, one in Basic course layer, and two in Advanced course layer, respectively. Whether we can stop consecutive decline in students' satisfaction depends on how effectively we could address the three problems discussed above toward AY2025.

Table 5-6: Results of Core course evaluation by students for AY2024 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q.12	Q.13	Q.14
English Communication	2	18	3.90	4.80	4.40
Management	1	24	4.64	4.71	4.79
Accounting for Decision Making	1	24	4.53	4.71	4.59
Statistics	1	16	4.73	4.55	4.73
Management	2	24	4.00	4.50	4.25
Accounting for Decision Making	2	23	4.40	4.50	4.40
English Communication	1	20	4.40	4.40	4.40
Business Ethics	1	24	4.33	4.38	4.48
Statistics	2	33	4.13	4.04	4.13
Business Ethics	2	26	4.00	4.00	4.50
Business Economics		12	4.00	3.71	3.71

Table 5-7: Results of Basic course evaluation by students for AY2024 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q.12	Q.13	Q.14
Marketing Management	1	22	5.00	4.88	5.00
Corporate Finance	2	15	4.75	4.88	4.75
Financial Reporting and Analysis	1	11	4.67	4.83	4.83
Financial Reporting and Analysis	2	20	4.67	4.75	4.75
Cost and Management Accounting		17	4.55	4.73	4.73
Leadership and Corporate Renewal		17	4.60	4.70	4.60
Corporate Strategy		13	4.56	4.67	4.56
Making Ethical Decisions		18	4.56	4.63	4.44
International Management	1	9	4.63	4.63	4.88
Advanced English for Business Practice		12	4.20	4.60	4.80
Marketing Strategy		14	4.44	4.56	4.67
Principles of Finance	1	11	4.67	4.50	4.50
Corporate Finance	1	12	4.56	4.44	4.38
Advanced English for Business Studies		10	4.57	4.43	4.29
International Management	2	33	4.47	4.41	4.53
Principles of Finance	2	16	4.20	4.09	4.18
Designing Organizational Systems		2	4.00	4.00	4.00
Marketing Management	2	18	4.14	3.75	3.75

Table 5-8: Results of Advanced course evaluation by students for AY2024 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q.12	Q.13	Q.14
Technology Management		5	5.00	5.00	5.00
Business Negotiation		10	4.67	5.00	4.67
New Global Venture Creation		6	5.00	5.00	4.67
Product Innovation		5	5.00	5.00	5.00
Portfolio Management		2	5.00	5.00	5.00
International Accounting		5	5.00	5.00	5.00
International Development		7	4.50	5.00	4.50
Advanced Topics in Business D		7	4.67	5.00	4.67
Individual Research	5	1	5.00	5.00	5.00
Individual Research	9	5	5.00	5.00	5.00
International Economic Integration		7	5.00	5.00	5.00
Advanced Topics in Business I		1	5.00	5.00	5.00
Individual Research	2	1	5.00	5.00	-
Individual Research	6	2	5.00	5.00	5.00
Individual Research	16	3	5.00	5.00	5.00
Individual Research	18	9	5.00	5.00	5.00
Cross-Cultural Management		17	4.69	4.94	4.69
Family Business Management		17	4.88	4.88	4.88
Human Resource Management		18	4.80	4.80	4.80
Group Research Project	5	10	4.80	4.80	4.80
Individual Research	3	4	4.50	4.75	4.50
Consumer Behavior		14	4.75	4.75	5.00
Management Information Systems		21	4.57	4.71	4.29
Individual Research	15	3	4.33	4.67	5.00
Asian Financial Market		3	4.33	4.67	4.33
Lasting Brands: Insights for Family-led Businesses		11	4.50	4.67	4.50
SME Finance		10	4.67	4.67	4.67
Group Research Project	2	6	4.67	4.67	4.33
Brand Management		5	4.80	4.60	4.60
Leadership Development: Mentoring for Business Success		13	4.60	4.60	4.60
Capital Markets		10	4.44	4.56	4.44
Group Research Project	3	17	4.47	4.53	4.53
Sustainability Management & Accounting		3	4.50	4.50	4.00
Advanced Topics in Business E		12	4.25	4.50	4.25
International Marketing Practice		14	4.50	4.50	4.25
Financial Risk Management		19	4.50	4.43	4.54
Advanced Topics in Business H		17	4.55	4.36	4.45
International Finance		3	4.67	4.33	4.67
Financial Institutions Management		12	4.33	4.33	4.44
Marketing Communication		13	4.00	4.25	4.00
Information Management for Decision Making		1	4.00	4.00	5.00
Corporate Restructuring		3	4.00	4.00	4.00
Individual Research	4	1	4.00	4.00	4.00
Accounting Theory and Practice		3	3.33	3.67	3.67
Marketing Research		10	3.50	3.50	4.17

B. Self-evaluation by instructors

As for the self-evaluation by instructors, results show overwhelmingly favorable evaluation. For all questions except for the last one, more than 90% instructors responded positively. No negative responses, including “Strongly disagree” and “Disagree,” are observed for all questions, except for 5% of respondents who “Disagree” to Q6: “*Overall, you are satisfied with the course*” as well as 1% responded with “Disagree” to Q7: “*Course content were highly relevant and useful for students’ future career*” As far as instructors’ self-evaluation is concerned, the results indicate that instructors feel all courses were offered in a satisfactory manner for AY2024.

However, closer examination of more detailed distribution of responses reveals that instructors’ self-evaluation reflects unfavorable evaluation by students as fractions of “Strong Agree” went down for most of

questions. Specifically, *“The course met the objectives and topics described in the syllabus”* ; 71% in AY2024 (compared to 72% in AY2023) for “Strongly agree” and 26% in AY2024 (compared to 27% in AY2023) for “Agree”, *“You encouraged students comment and discussion”*; 78% (81%) and 20% (16%), *“Your interest in whether students learned was high”*: 71% (73%) and 26% (24%), *“You answered students' questions clearly and sufficiently”*; 74% (72%) and 24% (20%), *“Students have obtained analytical abilities and critical thinking from the course”* ; 56% (60%) and 34% (24%), *“Overall, you are satisfied with the course”*; 61% (65%) and 30% (27%), *“Course content were highly relevant and useful for students' future career”*; 59% (67%) and 34% (27%), *“Do you think your goals have been achieved? Please answer this question in terms of goals you set at the beginning of the course on the basis of the answers of the above 1 –8 questions”*; 63% (62%) and 25% (27%). It is noteworthy that instructors admit students don’t learn as expected, and that their courses may not be relevant and useful enough for students.

Evaluation by students discussed above reveals consecutively declining satisfaction with IMC courses, which instructors gradually recognize and admit. Our major agenda for AY2025 will be how effectively we can act on this recognition to implement initiatives to address students’ dissatisfaction.

6. 会計専門職専攻

A. 学生による授業評価

(1) 概要

学生による授業評価アンケートは、【設問 1】から【設問 9】が「教員の授業内容と方法」について、【設問 10】と【設問 11】が「学生自身の取組み」について、【設問 12】から【設問 15】が「授業の満足度」について、そして【設問 16】と【設問 17】が「オンライン授業」について問うものである。各設問の平均値（小数点第 2 位で四捨五入）は、次のとおりであった。

表 6-1：各設問の平均値

番号	設問文	2023年度春学期		2023年度秋学期		2024年度春学期		2024年度秋学期	
		第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q	第 1 Q	第 2 Q	第 3 Q	第 4 Q
1	授業内容は、シラバスで示された主題や目的に十分沿っていましたか。	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
2	教員は十分に準備をして授業に臨んでいましたか。	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
3	教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか。	4.9	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9	5	4.9
4	授業で指定された教科書や配布された資料は、学習の助けとなりましたか。	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.9
5	教員は学生が発言したり議論することに十分な配慮を払いましたか。	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.8	4.8
6	教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか。	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.8	4.8
7	この授業で与えられる課題の量は適正なものでしたか。	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.9	4.8
8	授業の内容と時間配分は適正なものでしたか。	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
9	教員は学生の質問に丁寧に答えていましたか。	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8
10	この授業を受けるに当たって予習や復習を積極的に行いましたか。	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
11	この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか。	4.6	4.6	4.7	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7
12	この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか。	4.5	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.8	4.8
13	*この授業は全般的に満足のいくものでしたか。	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.8
14	この授業は今後の学習にとって有意義なものです。	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
15	この授業は仕事に役立ちそうですか。	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.8
16	【該当する場合にお答えください。】この授業はオンラインで受講することに問題はなかった。	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.9	4.8
17	【該当する場合にお答えください。】教員はオンラインでの授業に習熟していた。	4.6	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.9	4.9

注 Q：クォーター

コロナ禍により、2020 年度と 2021 年度はオンライン授業であったが、2022 年度から、対面授業が再開された。そして 2023 年度からは、原則として対面授業となり、特に理由が無い限り、学生も対面での参加が義務付けられた。ただし、主に平日夜の時間帯の授業において、教員がオンラインでも対面と同等の教育効果があると判断した一部の授業では、オンライン授業が行われている。

また、これまでのオンライン授業の経験を踏まえ、授業を Zoom で録画し、受講生が授業の復習用や、欠席した時のキャッチアップ用（ただし視聴しても出席扱いにはならない）に視聴できるようにしている。

対面授業再開 3 年目となる 2024 年度は、全体として 2023 年度とほとんど同じである。全般的な傾向として、春学期（第 1 クォーター、第 2 クォーター）は秋学期（第 3 クォーター、第 4 クォーター）より、評価が低めに出やすいようである。これは、1 年目の学生にとっては初めての履修になるので、授

業の難易度がよく分からず、自分の現在の知識水準を超える難易度の授業を履修してしまうことが原因と考えられる。この傾向は例年同様であるが、学生の能力に適さない難易度の授業を履修することは、学生・教員双方にとって好ましいことではないため、シラバスなどを通じて、受講にあたって求められる予備知識の水準を知らせる必要があるだろう。

（２）全体評価～専攻平均値～

専攻平均値は、すべての設問の評点を平均したもの（小数点第２位で四捨五入）である。会計専門職専攻が開設された 2005 年度から現在までの推移は、次のとおりである。

表 6－２：専攻平均値の推移

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
春学期	3.9	4.2	4.3	4.4	4.3	4.3
秋学期	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
春学期	4.3	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6
秋学期	4.4	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
春学期	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7
秋学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8
	2023年度	2024年度				
春学期	4.7	4.7				
秋学期	4.8	4.9				

専攻平均値は、2007 年度秋学期まで上昇し続けた後、2008 年度から 2011 年度までは 4.3 から 4.5 という値を記録してきた。2012 年度以降は、4.5 以上を保ち続けている。このように近年は、総合的な評価としては高位での安定が図られているものと言ってよいであろう。また、2020 年度はコロナ禍により急遽、授業がオンラインに変更されたが、全体としては概ね例年と同水準を維持する結果となった。さらに、オンライン授業 2 年目となった 2021 年度は、2020 年度よりも改善し、春学期も秋学期も 4.7 と、高い評価となった。更に、対面授業が再開された 2022 年度は、春学期 4.7、秋学期 4.8 と、なお一層高い評価となっている。2023 年度は、2022 年度と同じ評価となっている。そして 2024 年度は、秋学期において 4.9 と、極めて高い評価となっている。

(3) 個別評価

① 教員の授業内容と方法 (【設問1】～【設問9】)

表6-3:【設問1】から【設問9】の平均値

年度	学期	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	年度	学期	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
(専攻全体)											(ベーシック科目)										
2017	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	2017	春	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.9
2017	秋	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.7	2017	秋	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7
2018	春	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	2018	春	4.8	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2018	秋	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6	2018	秋	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
2019	春	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	2019	春	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7
2019	秋	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	2019	秋	4.7	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2020	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.3	4.4	4.5	4.6	2020	春	4.7	4.7	4.8	4.6	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5
2020	秋	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	2020	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2021	春	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8	2021	春	4.7	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8
2021	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8	2021	秋	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.6	4.7	4.8	4.8
2022	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8	2022	春	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9
2022	秋	4.9	4.9	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	2022	秋	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
2023	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8	2023	春	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
2023	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	2023	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
2024	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	2024	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.9
2024	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	2024	秋	5.0	4.9	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9
(コア科目)											(アドバンスト科目)										
2017	春	4.8	4.8	4.9	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6	2017	春	4.8	4.7	4.9	4.6	4.9	4.7	4.5	4.6	4.9
2017	秋	4.7	4.6	4.7	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.5	2017	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.8
2018	春	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	2018	春	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.7
2018	秋	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	2018	秋	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7
2019	春	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	2019	春	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8
2019	秋	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	2019	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.9
2020	春	4.7	4.8	4.9	4.6	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6	2020	春	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9
2020	秋	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	2020	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
2021	春	4.8	4.9	5.0	4.8	4.6	4.4	4.7	4.7	4.8	2021	春	4.8	4.9	5.0	4.8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.9
2021	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8	2021	秋	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8
2022	春	4.8	4.7	4.8	4.7	4.5	4.3	4.6	4.6	4.8	2022	春	4.9	5.0	5.0	5.0	4.9	4.8	4.9	4.9	5.0
2022	秋	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	2022	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	5.0
2023	春	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	2023	春	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.9
2023	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	2023	秋	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9
2024	春	4.9	4.8	4.9	4.7	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	2024	春	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7
2024	秋	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.9	2024	秋	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9

対面授業を再開した3年目となった2024年度は、2023年度よりやや改善している。オンライン授業2年目の2021年度から始めた取り組みとして、学生の利便性向上のため、Zoomの機能を利用して、授業の動画を録画し、受講生に公開することにした。これにより、学生は復習が容易になり、また欠席してしまった学生も、授業にキャッチアップできるようになった。この取り組みは対面授業を再開した3年目の今年度も継続しており、多くの学生が利用している。

② 学生自身の取組み（【設問 10】・【設問 11】）

「学生自身の取組み」を問う【設問 10】と【設問 11】は、昨年度と概ね同じ評価となっている。

表 6－4：【設問 10】から【設問 17】の平均値

年度	学期	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17	年度	学期	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
(専攻全体)									(ベーシック科目)								
2017	春	4.3	4.1	4.4	4.6	4.7	—	—	2017	春	4.4	4.3	4.5	4.8	4.8	—	—
2017	秋	4.3	4.1	4.4	4.6	4.6	—	—	2017	秋	4.3	4.2	4.5	4.6	4.7	—	—
2018	春	4.3	4.3	4.4	4.5	4.6	—	—	2018	春	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7	—	—
2018	秋	4.4	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—	2018	秋	4.4	4.3	4.6	4.7	4.7	—	—
2019	春	4.5	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—	2019	春	4.5	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019	秋	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—	2019	秋	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020	春	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	—	—	2020	春	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2020	秋	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	—	—	2020	秋	4.4	4.3	4.5	4.7	4.8	—	—
2021	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	2021	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5
2021	秋	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	2021	秋	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.8
2022	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	2022	春	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.8
2022	秋	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	2022	秋	4.6	4.7	4.7	4.9	4.9	4.8	4.9
2023	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	2023	春	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2023	秋	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	2023	秋	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
2024	春	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.6	4.7	2024	春	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7
2024	秋	4.7	4.7	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9	2024	秋	4.8	4.7	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
(コア科目)									(アドバンスト科目)								
2017	春	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7	—	—	2017	春	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	—	—
2017	秋	4.3	4.0	4.2	4.4	4.5	—	—	2017	秋	4.1	4.0	4.5	4.7	4.7	—	—
2018	春	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	—	—	2018	春	4.5	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2018	秋	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5	—	—	2018	秋	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019	春	4.5	4.3	4.4	4.6	4.7	—	—	2019	春	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019	秋	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	—	—	2019	秋	4.6	4.5	4.7	4.8	4.8	—	—
2020	春	4.5	4.3	4.4	4.5	4.7	—	—	2020	春	4.7	4.9	4.7	4.8	4.8	—	—
2020	秋	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	—	—	2020	秋	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	—	—
2021	春	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	2021	春	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8
2021	秋	4.5	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	2021	秋	4.6	4.4	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8
2022	春	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6	4.4	2022	春	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2022	秋	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.8	4.8	2022	秋	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2023	春	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6	2023	春	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0
2023	秋	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5	4.6	2023	秋	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
2024	春	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.5	4.6	2024	春	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
2024	秋	4.7	4.6	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9	2024	秋	4.7	4.8	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9

③ 授業の満足度（【設問 12】～【設問 14】）

【設問 12】～【設問 14】の評価は、授業に対する評価の結論的指標となるものである。専攻全体で見ると、【設問 12】～【設問 14】の 2024 年度の評点は概ね昨年度と変わらず良好な結果となっている。また、全般的に春学期より秋学期の方が高めの評価が出ている。

この授業評価アンケートは、これまでは対面授業の最終週の授業時間内で、マークシートで実施してきたため、最終週の授業に出席していた学生はほぼ全員、回答していた。しかし、コロナ禍によりオンライン授業へと切り替わった 2020 年度から、授業時間外に学生個々人がオンラインで回答するように変更された。

このため、最終週の授業に出席していない学生も回答できるようになった反面、授業に出席している学生が必ずしも回答してくれるとは限らなくなってしまった。オンラインアンケート実施 1 年目の 2020 年度は、全体で回答率（＝回答者数／履修者数）は 70%であったが、2021 年度は 57%、2022 年度は

59%、2023年度は64%、そして2024年度は62%であった。コロナ禍直前の2019年度は87%であったので、いまだ十分とはいえない水準にとどまっている。

これは、授業時間外にオンラインアンケートを実施することになったことで、これまで回答していた学生が回答しなくなってしまったこと、何回も同じ内容の授業アンケートを回答させられることで、マンネリの状態となり、学生が回答することを止めてしまったこと、及び授業アンケートの重要性が学生に理解されていないこと、などが考えられる。実際、2024年度の各クォーターごとの回答率は、第1クォーターが73%、第2クォーターが67%、第3クォーターが56%、第4クォーターが49%と、学期が進むにつれて回答率が悪くなっている。

授業評価を行うにあたり、アンケートの回答率が低いことは好ましくないため、回答率を上げるための何らかの取り組みが必要である。授業評価アンケートの実施方法を再びマークシートに戻すことは現実的ではないので、2022年度から、最終週の授業時間内で、オンラインアンケートのQRコードを示し、スマートフォンなどで回答してもらうように変更した。2024年度も同様の取り組みをしているが、まだ教員全体でその取り組みが浸透しておらず、一部の授業では行われていなかった。次年度では、徹底して取り組みたい。

B. 教員による担当科目自己評価

2019年度から、教員の担当科目自己評価はオンラインで実施されることになり、それに伴い、質問事項も大幅に変更された。2024年度の設問は次のとおりである。

<選択回答>

【設問】 1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。 2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。 3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。 4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。 5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。 6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。 7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。 8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可) 9. 上記1～8の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。 10. 授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか。		
--	--	--

【設問8】【設問10】以外の 回答の選択肢	【設問8】の 回答の選択肢	【設問10】の 回答の選択肢
●5：そう思う ●4：だいたいそう思う ●3：どちらとも言えない ●2：あまりそう思わない ●1：そう思わない ●NA：該当しない から一つを選択。	●学生の理論の理解を促す ●学生の思考力の向上を図る ●学生の学習への自発性を促す ●学習内容の理解の定着を図る ●学生間の相互学習を促す授業運営 ●学習内容の実務への応用性 ●理論と実践のバランスを考えた授業の構成 ●その他 から該当するものを選択。 (複数選択可)	●はい ●いいえ から一つを選択。

<記述回答>

1. この科目において、実施してよかった点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。
2. この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。

<選択回答>の回答数は次のとおりであった。

表 6－5：教員による担当科目自己評価（2024 年度）<選択回答>

（専攻全体）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	（ベーシック科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	104	71	50	93	42	51	74	63	5そう思う	35	23	16	29	17	16	26	20
4だいたいそう思う	22	38	60	34	64	64	49	55	4だいたいそう思う	7	11	20	12	21	24	14	20
3どちらとも言えない	2	4	20	1	18	8	6	9	3どちらとも言えない	0	0	7	1	3	0	2	2
2あまりそう思わない	1	1	0	0	0	7	0	3	2あまりそう思わない	1	1	0	0	0	3	0	1
1そう思わない	1	2	0	0	0	0	0	0	1そう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0
NA該当しない	0	14	0	2	6	0	1	0	NA該当しない	0	7	0	1	2	0	1	0
合計	130	130	130	130	130	130	130	130	合計	43	43	43	43	43	43	43	43
平均値	4.7	4.5	4.2	4.7	4.2	4.2	4.5	4.4	平均値	4.8	4.5	4.2	4.7	4.3	4.2	4.6	4.4
昨年度平均値	4.7	4.4	4.3	4.7	4.3	4.3	4.6	4.4	昨年度平均値	4.7	4.5	4.2	4.7	4.5	4.4	4.6	4.5

（コア科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	（アドバンスト科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	36	17	10	32	7	14	21	17	5そう思う	33	31	24	32	18	21	27	26
4だいたいそう思う	9	16	24	12	26	26	22	24	4だいたいそう思う	6	11	16	10	17	14	13	11
3どちらとも言えない	0	4	11	0	8	4	2	3	3どちらとも言えない	2	0	2	0	7	4	2	4
2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	1	2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	3	0	1
1そう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0	1そう思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
NA該当しない	0	7	0	1	4	0	0	0	NA該当しない	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	45	45	45	45	45	45	45	45	合計	42	42	42	42	42	42	42	42
平均値	4.8	4.3	4.0	4.7	4.0	4.2	4.4	4.3	平均値	4.7	4.7	4.5	4.8	4.3	4.3	4.6	4.5
昨年度平均値	4.8	4.1	4.0	4.6	3.9	4.2	4.4	4.2	昨年度平均値	4.7	4.7	4.6	4.8	4.5	4.4	4.6	4.5

設問 8（選択割合）	専攻全体	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
学生の理論の理解を促す	75%	80%	74%	71%
学生の思考力の向上を図る	52%	42%	56%	60%
学生の学習への自発性を促す	57%	53%	56%	62%
学習内容の理解の定着を図る	75%	76%	81%	69%
学生間の相互学習を促す授業運営	21%	11%	21%	31%
学習内容の実務への応用性	43%	29%	42%	60%
理論と実践のバランスを考えた授業の構成	28%	11%	37%	38%
その他	5%	2%	9%	2%

（注）設問 8 は複数回答が可能なため、割合の合計は 100%にならない。

2024 年度は、2023 年度と概ね変わらず、コア科目からアドバンスト科目になるにつれて、自己評価も高くなっている。

また、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンライン（学生が所有しているスマートフォンでアンケートサイトにアクセスして回答する形式）で実施するようになったことで、回答率が低下している。この問題の改善を促すため、2023 年度より、教員への質問事項において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問 10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加した。2023 年度の結果は「はい」と回答

した科目は全体の 58%、「いいえ」と回答した科目は全体の 42%であり、2024 年度の結果は「はい」と回答した科目は全体の 67%、「いいえ」と回答した科目は全体の 33%であった。

授業中にアンケートを実施することはアンケート回収率を改善する有力な方法である。しかし、2023 年度は【設問 10】に「はい」と回答した教員が 58%で、その年度の学生の回答率が 64%であったのに対し、2024 年度は、「はい」と回答した教員が 67%と増加したにもかかわらず、その年度の学生の回答率は 62%とやや減少した。

これは、授業中にアンケートを実施するだけでは、回答率を上げるのに十分ではないことを示している。回答方法にかかわらず回答の匿名性を保証しているが、オンラインでの回答ではそれが保証されていない可能性を懸念している可能性、または（特に留学生の母国においては）授業を学生が評価する習慣がないのが原因かもしれない。いずれにせよ、回答率を上げるため、他の方策も検討されるべきである。

<記述回答>では、【記述設問 1】この科目において、実施してよかった点は何ですか、【記述設問 2】この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか、を自由記述形式で回答してもらっている。自由記述形式なのは、教員の自由な意見を集めるためである。

各設問に対する回答の全体的な傾向を把握するために回答内容を分類し、これに基づいて分析を行っている。ただし、次のような制約、限界がある点に留意されたい。まず、分類にあたっては回答の文言よりもその趣旨に基づいているが、各設問の回答は自由記述形式であるため、その判断が主観的なものとならざるを得ない部分がある。回答が少ない項目は、表には含めていない。そして、単一の授業で複数の項目を回答している場合は、特に重要と思われる 2, 3 程度の項目に限定して集計している。また複数回答している授業があるため、回答率の合計は 100%にならない。

【記述設問 1】担当科目において実施してよかった点

担当科目において実施してよかった点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 6－6：担当科目において実施してよかった点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンス科目
小テスト・中間テスト	19%	14%	—
宿題・レポートなどの課題	21%	20%	6%
事前学習（予習）を促す取り組み	7%	2%	—
要点を得た・詳細な・充実したレジュメ・配布資料の作成	7%	8%	—
授業内容を（シラバス、LUNAや授業内アナウンスで）明確にしたこと	6%	5%	—
基礎知識や重要論点の確認等を踏まえた丁寧な解説・指導	7%	12%	4%
取り扱うテーマの適切な選択	1%	5%	6%
事例・実務に則した授業（ゲストスピーカーやケーススタディの工夫も含む）	12%	3%	21%
理論解説、実務解説、問題演習などのバランスの工夫	6%	6%	8%
テスト・課題に対する教員からのフィードバック	6%	3%	—
学生による課題発表、プレゼンテーション、ディスカッション	—	5%	26%
教員と学生間の質疑応答といった双方向な授業の実践	1%	9%	17%
グループワーク、グループディスカッション、学生間の協働作業	1%	6%	6%
その他	3%	5%	8%

例年、コア科目やベーシック科目では、「小テスト・中間テスト」や「宿題・レポートなどの課題」を

挙げることが多い。これにより、学生の理解度を確認しながら、また自主学習を促しているようである。そして、「アドバンスト科目」では、演習形式の授業が増えるためか、学生のプレゼンテーションや、双方向的な授業が指向されている。

【記述設問 2】担当科目について改善・工夫をした方がよい点

担当科目について改善・工夫をした方がよい点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 6－7：改善・工夫をした方がよい点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
レジュメ・テキスト・配布資料等の教材の改善	9%	8%	5%
講義（解説）・演習などの時間配分	7%	4%	2%
能力・予備知識・理解度の低い学生への対応	13%	8%	16%
授業意欲の低い学生への対応	11%	2%	—
双方向な授業の導入・増やす取組み、積極的な授業参加を促す取組み	—	4%	—
学生との対話・コミュニケーションを増やす	—	8%	—
（予習・復習などの）学生による自発的学習の促進	2%	6%	2%
授業で扱うトピックの選定、及び質と量のバランス	13%	6%	11%
実践的で、実務で使える内容を増やす	2%	—	5%
演習問題や課題の内容の改善	4%	2%	2%
小テストや課題などの実施、または量の改善	—	6%	2%
留学生の語学能力の差への対応を図る	2%	2%	5%
ディスカッションやプレゼンテーションを実施する・増やす	2%	2%	16%
受講生が多すぎる	2%	2%	2%
教室設備の改善	4%	—	—
生成AIなどへの対応	2%	2%	—
その他	15%	4%	14%
特になし	15%	33%	18%

コア科目とアドバンスト科目では、「能力・予備知識・理解度の低い学生への対応」の回答が多い。これは、コア科目ではその分野の知識の浅い学生が来ること、及びアドバンスト科目では実務のことを知らない学生が受講してくることが原因と考えられる。また、コア科目では授業意欲の低い学生が散見されるのも気になる点である。

今年度は、新しく「受講生が多すぎる」や、「生成 AI などへの対応」を挙げる回答が（少数だが）あった。最近、アカウンティングスクールは学生数が増加傾向にあり、科目によっては 40 人を超えることもある。受講生が多くなると授業運営や教室確保も難しくなるため、そろそろ何らかの対応を図るべきかもしれない。

また、生成 AI などへの対応を挙げる回答もあった。近年は生成 AI のレベルが非常に高くなり、生成 AI を使ってレポート課題を提出されても、見分けることが非常に困難になっている。これの対応も、今後は必要になるかもしれない。

7. 今後の課題 (Issues to be resolved)

A. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

2023 年 5 月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、分類上「5 類」へ引き下げられた。大学における学習環境については、2024 年度は、通年でコロナ禍以前の状態に戻ったと言える。授業の満足度に関する問 13 の平均値は、全科目群の通年で 4.49 となっている。コロナ禍の 2020 年度以降、4.40、4.50、4.60、4.46 と推移しており、過去最高の 2022 年度には達しないものの、昨年度あるいは 2009 年度からの 2024 年度までの平均値を超えている。一定の評価を得ているものとする。ただし、秋学期においては、昨年度に比してスコアが落ちている設問が少なくなく、それらの理由についての分析、対応が特に求められる。

しかしながら、学生の受講上の利便性の観点からはハイフレックス形式に対するニーズは高いと思われる。現在、対面、ハイフレックス、フルオンラインの 3 つの授業形式の中で、ハイフレックス形式の授業が最も多くなっている。学生の受講形態（対面かオンラインか）を学生自身が選択できる機会が増えたことは、上記の 4.49 との数値の背景にあるものと考えられる。

そのような状況にある中で、2024 年度のオンライン授業に対する質問（問 16、問 17）のスコアに関しては、問 16 は前年度から 0.1 下降、問 17 はわずかな下降がみられた。授業担当者のハイフレックス授業におけるノウハウや機器操作のスキルの習熟度は高まりつつあるが、受講生側の要求水準も高まっていることが、こうした数値の背後にある可能性がある。加えて、対面授業へのハードルが下がった今、講義内容そのものがオンラインに向いているかどうかという点についても熟考する時期が来たのかもしれない。引き続き、オンライン講義のノウハウやスキルの向上に引き続き努めることで、安定した授業運営に取り組んでいく必要があり、そのために、ハイフレックス授業へのサポートの継続や、授業改善・工夫の共有等の F D 研修の実施などが課題となる。大阪梅田キャンパスでの P C サポートができる事務スタッフや教学補佐の配置は、可能な限り継続していくことが望まれる。また、F D 活動を通じて、たとえば、教室や履修者の規模に応じた、対面受講者とオンライン受講者を組み合わせたクラス・ディスカッションの方法といった、ハイフレックスの授業の工夫のための様々なノウハウなどを、相対的に習熟した教員から非常勤講師も含めた教員全体に共有するなどしていくことで、研究科全体の授業の質の向上の実現につなげられるのではないかと考える。

B. Business School, International Management Course

（経営戦略専攻国際経営コース）

For AY2024, courses offered at IMC are barely favorably evaluated by both students and instructors. Comparison against AY2023 (as well as AY2022) shows consecutive drop in evaluation scores by students, particularly in Core and Advanced courses. Avoiding further drop in evaluation scores should be the most critical challenge for AY2025.

Firstly, students' dissatisfaction with instructors' teaching quality should be seriously addressed. All instructors should reexamine their teaching in terms of their knowledge, class operation, as well as the amount of assignments for students so that they can ensure satisfaction of students. Courses evaluated as lower than 4.0 for Q13 should also be quickly addressed. Plans for improvement initiatives should be prepared by instructors in charge, which then should be approved by the BS faculty meeting, as well as by the IBA executive team. The implementation of the plan should also be closely monitored. Further raising instructors' awareness of students' dissatisfaction

should also be important. One possible change we could consider is to delay the timing of self-evaluation survey by instructors until instructors are shared with results of course evaluation by students (rather than immediately after the quarter, when results of evaluation by students are still unknown). With this change, instructors can leverage their self-evaluation as an opportunity to reflect their course improvement strategy. Group interview results should also be shared with instructors so that instructors can have more opportunities to be informed of real voice of students.

Secondly, we should inform current as well as prospective students that IMC courses are offered in an in-person format (to comply with the government regulation), while hyflex or on-line format are offered only as an exception. It is important that we avoid disappointing students with the wrong expectations that they can complete the program by taking on-line courses only. As we offer majority of the courses in an in-person format, it may not be necessary to keep Q16 and Q17 in the survey. In case these questions are maintained, the wording of those questions should be reconsidered, so that they don't capture disappointment of students with courses being offered in an in-person format. As for those exceptional cases in which courses are offered in a hyflex format, instructors should be advised to make sure that on-line participants feel closely involved in class discussions.

C. 会計専門職専攻

コロナ禍により突然のオンライン授業を余儀なくされた 2020 年度は、講義形式の授業が多いコア科目の授業評価に著しい悪影響をもたらした。しかし、オンライン授業 2 年目の 2021 年度では、教員がオンライン授業の方法に習熟したこともあり、コア科目も含めて授業評価は大きく持ち直し、全体として例年並みの評価となった。

そして 2022 年度から、本専攻では、オンライン授業の有効性が認められる一部の授業を除き、基本的にすべての授業で対面授業に復帰し、2024 年度もそれは継続されている。また、学生の利便向上のため、対面授業の場合でも、Zoom による授業の録画・学生への提供をしている。これは今後も継続する予定である。

本専攻は、ここ数年は学生数も増加しているが、そのバックグラウンドは多様である。つまり、社会人経験のない学生、社会人学生、留学生など、多様な学生が在籍しており、授業参加前の予備知識にかなりの差が見られる。この問題への対処は困難であり、教員も対応を試みていてそれなりに成果は出ているものの、決して十分とはいえず、引き続き教員による工夫が求められる。特に会計領域に関する学習を展開・発展させるアドバンスト科目群に配置している科目は、授業の運営上教員が必要と判断する場合には、想定される履修者数を上回る場合には次学期以降履修者数の上限を設定したり、当該科目を履修するうえで前提となる別の科目を事前に履修し単位を修得することを求めるなど、何らかの条件をつけることも検討する余地がある。

また、近年は留学生が増えており、特に日本語で大量に文章を記述しなければいけない授業科目では、日本語の語学力の差が顕著に出てしまう。ただし、ここ数年は、入試で要求する日本語の水準が上がったこともあり、以前ほど深刻ではないようであるが、この課題が完全に解消されてはいない。引き続き、対応が検討されるべきであろう。

最後に、今後も、回答率を上げる方法を検討すべきである。コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下した。この問題を改善するために、授業時間外に回答するのではなく、原則として最

終授業回の授業の終わりに 10 分程度の時間を設けて授業時間内にアンケートに回答してもらうように運用を変更している。それでも、2024 年度の本専攻の回答率は 62%と、マークシートで実施していたときと比べて大幅に低い水準に止まっている。

本アンケートは匿名性を確保しており、回答者が特定されることなく、学生の率直な意見を収集すること目的としていることを学生には事前に伝えているが、回答者の匿名性が確保されていることの周知徹底も必要であろう。

D. 総評

2023 年 5 月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、分類上「5 類」へ引き下げられたことを受けて、授業の実施に関しては、コロナ禍以前の状態に戻ったと言える。全授業録画及びその提供の方針は継続しており、録画データは出席できなかった場合の学習の補助及び復習に役立てられている。授業の実施形態については、経営戦略専攻企業経営戦略コース（中小企業診断士養成プログラムを除く）では、利便性の向上などを目的にしてハイフレックス授業やフルオンラインで、中小企業診断士養成プログラムは全授業が対面で実施されている。経営戦略専攻国際経営コースと会計専門職専攻では、対面と同様の教育効果があると授業担当者が判断する場合を除いて、対面での授業実施を原則としており、オンライン授業は減少してきている。

企業経営戦略コースでハイフレックス授業やフルオンライン授業や全授業録画は定着してきているが、新任の授業担当者への機器操作サポートは必須である。授業実施期間中は、授業時間帯に教務補佐・教学補佐を配置し、機材操作面で授業のサポートに当たらせている。導入当初のように全教員を対象とした F D 研修会は行っていないが、新任あるいは不得手な授業担当者には、職員が各学期、初回授業の前に個別に支援を行っている。機器操作の習熟度は、授業の質に直結するため、この対応を引き続き行う必要があると考えている。

2023 年度秋学期から L U N A（学習支援システム）が刷新され、オンライン上での教材配布やレポートの提出などの機能が充実するとともに、様々な項目で開発が継続されている。授業の双方向性と利便性の観点から L U N A の効果的な活用が望まれる。L U N A の機能も導入当初から修正が行われており、その効果も検討する必要があるだろう。

アンケート調査の結果は、概ね肯定的な結果となっているが、引き続き授業内容の充実を図っていく必要がある。幾つかの科目で評価が低下しているが、個々の科目に問題があるのか、その他の要因によるものなのかを分析の上、改善策が講じられることが望まれる。

アンケート回収をオンライン化したことにより、紙媒体で実施していた頃に比して回答率が低下している問題には最終回の授業中に実施したり、授業担当者及びポータルサイトによる働きかけを行うことを通じて、引き続き取り組んでいきたい。また、オンライン化により、学生の授業評価アンケート、教員の自己評価アンケートともに自由記述がデジタル化されたことを受け、これらのデータの分析にも着手する必要があるだろう。2025 年度からは教員の自己評価アンケートの収集方法が変更となっており、学生の授業評価と教員の自己評価アンケートの接続が期待されている。

いずれの専攻・コースも、社会人・外国人留学生を含め多様な学生を入学させており、教職員はその対応に多くの努力を払っている。教務補佐・教学補佐の配置も含めた授業サポートのさらなる充実、及び現在行っている施策の評価が望まれる。

以 上

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科

内部質保証委員会

コンビナー 山本 昭二